

# 後援会

2025年 No.55 秋  
発行日 2025年11月10日

# たより

大阪電気通信大学後援会  
<http://www.dentsukouenkai.com/>



2025年度 総会報告／キャンパス探訪第25弾  
新任先生のごあいさつ／インタビュー  
大学内にキャンパスドンキ OPEN

# 2025年度 後期 行事予定表

工学部 / 情報通信工学部 / 建築・デザイン学部  
健康情報学部 / 医療健康科学部 / 医療福祉工学部  
総合情報学部  
大学院 (工学研究科 / 医療福祉工学研究科  
総合情報学研究科)

10月	1(水)	創立記念日
	2(木)	後期授業開始
	13(月・祝) スポーツの日	授業日
	18(土)	補講日
11月	3(月・祝) 文化の日	授業日
	22(土)・29(土)	補講日
	24(月・祝)	振替休日 (授業日)
12月	1(月)	12月期学位授与者発表 (院)
	12(金)	12月期学位授与式
	20(土)	補講日
	20(土)	なわフェス
	24(水)	授業終了
	25(木)～26(金)	振替休日 (10/13・11/3 授業実施に伴う振替)
1月	25(木)～2026/1/4(日)	冬季一斉休業
	5(月)	授業再開
	9(金)	後期授業終了
	13(火)	補講日
	14(水)～16(金)・19(月)～20(火)	後期定期試験
2月	23(金)・26(月)～27(火)	後期追試験
	2(月)	振替休日 (11/24 授業実施に伴う振替)
	7(土)～8(日)	なわてん
	12(木)～13(金)	成績発表
3月	26(木)～27(金)・3/2(月)	卒業再試験
	7(土)	教育懇談会
	9(月)	大学院入学試験
	11(水)	成績発表
	18(水)	学位授与式

## 後援会たより No.55 Contents

- P02 後援会会長ごあいさつ  
大阪電気通信大学 後援会会長 十河 欣也
- P04 2025年度 総会報告
- お知らせ
  - P08 2024(令和6)年度 事業報告
  - P09 2024(令和6)年度 収支決算報告
  - P10 2025(令和7)年度 事業計画
  - P11 2025(令和7)年度 収支予算
  - 2025年度 後援会役員名簿
  - P12 2025年度会員の地域別分布状況(大学・大学院)  
在籍学生数
- P13 2025年度 新任先生のご紹介・ごあいさつ
- キャリアセンターたより
  - P22 2025年度就職活動の動向  
キャリアセンター部長 土田 修
- P24 資格学習支援センター
- P26 オリコ学費サポートプラン
- P28 第65回大学祭「響心」
- P30 第65回大阪電気通信大学大学祭活動報告
- P31 福島県新地町復興イベント
- P32 後援会も自由工房に協力
- P34 施設見学・キャンパス探訪 第25弾
- P41 大学内にキャンパスドンキOPEN
- P42 父母の声
- P44 大学への問い合わせ・キャンパス案内図
- P46 三文の徳食堂
- P47 2026年度 表紙デザイン募集詳細
- P48 後援会規約



### cover design

ゲーム & メディア学科  
4年次 川向 俊輝

### concept

コンセプトは「紅葉狩りを楽しむ親子」です!  
ベンチに座って飲み物を飲みながら、紅葉を楽しむ  
お母さんと子供の姿をイメージして描きました!

この冊子に写真を載せさせていただいた学生の方は  
後援会事務室までご連絡ください。  
薄謝を差し上げます。

# 後援会会長就任 ごあいさつ

大阪電気通信大学後援会 会長  
そ ごう きん や  
十 河 欣 也



## 私にとっての後援会活動について

会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申しあげます。

平素より後援会の活動につきましてはご理解とご協力を賜り感謝申しあげます。

この度、6月21日(土)2025年度大阪電気通信大学後援会定期総会が開催され、前石橋後援会会長よりバトンを引き継ぎ後援会会長に選出いただきました十河欣也(そごう きんや)と申します。微力ではございますが保護者代表として学生のより良い環境作りに尽力していく所存でございますので皆様のお力添えをいただきましたら幸いです。

何卒よろしくお願い申しあげます。

2025年に入り世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナへの侵攻で終わりの見えない戦争が続いておりますし、1月20日アメリカ合衆国で第二次トランプ政権が発足後、トランプ氏が発表している一連の関税措置に対し、日本を含む世界各国から驚きと不満の声が報道などで日々取り上げられており、この「トランプ関税」で様々な産業への影響が心配しております。

日本に目を向けては、大阪・関西万博の来場者も順調に増加し世界中から訪日客も多く来日し日本経済を下支えしてくれ

ていると思われます。私が高校生の時はこんなにも沢山海外から観光客が押し寄せるなど想像すらしておりませんでした。

さて、私事で恐縮ですが、中学高校6年間サッカークラブで日々厳しい練習に耐え各種大会で結果も出ておりましたので、スポーツで大学進学を目指しておりました。しかし、諸般の事情で断念せざるを得ず就職を選択しました。今でも深く後悔しております。そんな中、結婚後、4人の息子に恵まれ現在四男がこの4月に入学し三男に続き本学にお世話になる事になりました。縁がありまして長男、次男も他大学在籍時も後援会でお世話になっておりました。自身が果たせなかった「大学進学」ですが何かしら大学に携わりたいとの思いで務めさせていただいております。その思いに息子が応えてくれるのが一番嬉しいのですが過度な期待はプレッシャーになりますので、ほど良い距離感で応援をしたい、役立つことをあげたいとの思いで今後も後援会活動に関わってまいります。

皆様ご存じの事と思いますが、後援会の現在の活動ですが、保護者の声も参考にして活動しております。

部活動への活動援助金や各種学会発表の補助、今年度からの情報系資格取得者への受験料補助など、一部の限られた学生への援助だけでなく、教育懇談会開催一部負担といった目に見えにくい支援も行っております。

また、学生の健康的な生活を支援する取組として、両キャンパスにおける「三文の徳食堂」では、朝食を100円で提供できるよう、後援会から1食あたり125円を補助しております。これにより、学生の経済的負担を軽減し、規則正しい生活の支援にもつなげております。

一方、保護者の皆様が关心をお持ちの就職や進路についてですが、昨今の就職活動は私たち親世代の頃と比べて大きく様変わりしています。特にコロナ禍を経て、状況

はさらに多様化・複雑化しているようです。メディアなどで報じられる内定率の数字に、一喜一憂される方もいらっしゃるかと思いますが、大学では「保護者のためのオンライン就活セミナー」などを通じて、最新の就職事情について情報提供を行っております。ぜひこうした機会をご活用いただければ幸いです。

さらに大学では、秋と春に教育懇談会を開催しておりますので、大学のこと全般や、進路について不安に思われることなどございましたら是非ご参加ください。

最後になりますが、後援会では大学祭への協力など様々な活動をしておりますので行事へのご参加などご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



# 2025年度 総会報告

2025年(令和7年)6月21日(土)、寝屋川キャンパスJ号館302教室にて2025年度定期総会を開催致しました。当日は晴天の下、会員121名と学内幹事、大学関係者の皆さんに参加いただきました。

午後1時から開催された総会において石橋会長より挨拶があり、来賓としてご出席いただいた塩田学長より、寝屋川キャンパスのトレーニング機器や四條畷キャンパスのウォーターカーラーの寄附、また自由工房のソーラーカーの競技への支援に対して、お礼のお言葉をいただきました。

続いて、来年度開設の新学科(新デジタルゲーム学科)の紹介、日経CAREER MAGAZINE「価値ある大学就職力ランキング」での全国ランキングのランクイン等の説明があり、さらに大学の情報や今後の構想など興味深い内容のお話をいただきました。

塩田学長退席後、規約に基づき石橋会長が議長となり、議事の審議に入りました。

議案審議に先立ち、報告事項として、寺西大学事務局長(常任幹事)より、大学組織変更に伴う大阪電気通信大学後援会規約の一部改正の説明がありました。

第1号議案として、前田副会長より2024年度事業報告について資料に基づき説明がありました。

続いて、市田会計より2024度の収支報告書について資料に基づき説明があり、白崎会計監査・辻会計監査より帳簿並びに関係書類を精査した結果は、正確、かつ適正であったと報告がありました。議長よりプロジェクトを用い、活動の内容がわかる行事の写真や寄附した物の画像の投影など、会計の費目ごとに、

より詳しい説明が行われ、質疑応答の後、議長が承認を求め、賛成多数で承認されました。

第2号議案として、幸副会長より2025年度事業計画案について資料に基づき説明があり、市田会計より2025年度予算案について資料に基づき説明がありました。質疑応答の後、2025年度の事業計画および予算は賛成多数で承認されました。

第3号議案として、寺西常任幹事より2025年度役員選出について候補者の説明があり承認されました。

続いて、承認された新役員の紹介があり、代表として十河新会長より挨拶がありました。又、石橋前会長より退任の挨拶があり、2025年度の定期総会が終了いたしました。

総会終了後、建築・デザイン学部建築・デザイン学科空間デザイン専攻、梅原悟教授に「実経験をもって建築空間へ」～オランダ・デンマークを通して～と題してご講演をいただきました。

講演ではオランダ・デンマークに滞在して、建築・設計に携わったご体験をお聞きし、たくさんのスライドからイメージの世界に浸りながらとても楽しく拝聴することができました。

総会、講演を終了した後は会場を1階の食堂に移し、各学科・専攻及び共通教育機構の先生方や学内幹事にご参加をいただき保護者との懇親会を開催いたしました。



定期総会の様子



石橋後援会会長

ました。

先生方とお会いする機会が少ない保護者にとって貴重な時間となり、学生たちの大学生活や進路等について、時間の許す限りご歓談いただきました。

保護者の皆様には昨年度の後援会活動にご協力いただきましたこと、役員一同心よりお礼申し上げます。

また、学生生活を支援すべく教職員の皆様と連携して活動しております。今後とも後援会活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



講演・梅原教授



総会・役員選出

## 総会・講演会・懇親会 参加アンケート

ご出席いただいた会員の皆様からいただいたアンケートの一部をご紹介いたします。  
(紙面の関係で全てを掲載できませんでした。ご了承ください)

### 【総会】

- 皆様ご多忙の中、定期総会の開催をありがとうございます。在学中はお世話になります。よろしくお願いします。
- 自宅から遠いので、初めてきて、どんなキャンパスなのかも見学できました。  
また、後援会がどんな活動をしているのか知ることもできました。
- 初めて参加しました。  
入学し数か月経ちましたが、大学の様子もわからずでしたので、色々なお話を聞いて良かったです。  
今後も学生支援をお願いしたいのと、保護者間の交流の場も設けていただければと思います。  
よろしくお願いします。
- 2025年予算見直し(大学持ち分の増加)は良かったと思います。

食堂への補助も賛成ですが、昨今の物価上昇において、もっと補助額を増やしてもいいのでは?と思いました。  
緊急事態では毎回定額の積立金は必要でしょうか?(少し減らしてもいいのでは?)  
たくさんの幹事の方よろしくお願いします。

本日はお疲れ様でした。1年の保護者です。  
以前に読ませていただいた後援会たよりの中で、懇親会で先生と直接お話しできる機会があると知り、今回参加させていただきました。  
総会では、より細やかな説明に初めて参加するものにも分かりやすくて有り難かったです。  
質問された方の中で、学生援助として、情報系資格の援助を問われてた方がおられましたが、私はこの資格取得は就職に向けて必要なものだと思っていたので、質問された方の考えに少し戸惑いました。  
後援会から頑張ろうとする学生の支援としてはとても

有り難いことです。

予算をそこにかけてもらえるのは大いに賛成です。

後援会の皆様には今後もお世話になりますが、よろしくお願いします。

■各学部の研究などの発表があればよかったです。

■総会について。

後援会活動を丁寧にご説明いただき、また学校とも相談、検討されて運営している状況がわかりました。

学生を支援する取り組みを強化する方向性を表した予算組に賛同いたします。

「IT系資格補助」は特に「電気通信大学」で学ぶ学生にとっては必須だと思いますので、合格への土氣アップにもつながる面もあるでしょうし、よい取り組みだと思います。

■役員 幹事の皆様 学長はじめ先生方にお会いする事ができて楽しかったです。

準備に関わっていただいた皆様ありがとうございました。後援会費がどう使われているか知る機会となり、学生生活をサポートする後援会であると実感しました。

■塙田学長のお話にありました、就職力、人材育成力等のランキングで電通大が上位にありますのは光栄で、親として心強く感じました。

また新たなメタバースCPを開設予定のお話を誇らしく、息子の在学中に体験できれば嬉しいな、と思いました。

■総会では、学長のお話もあり、大学と後援会で取り組んでいる事業内容がよくわかりました。

今回、参加することができ、本当に良かったと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願いします。

■会長の説明が先にあり、今年の進行はスムーズに終わつたのだと思いました。

電通らしい素敵なデジタルキャンパスとても楽しみにしております。

■総会、講演会、懇親会と充実した1日でした。

後援会たよりは読んでいましたが総会で説明を受けたことでより理解することができました。

(成績表やキャンパスカレンダーは本当にありがとうございます)

子供達の為になる事を考えていただいているのがよくわかりました。

## 【講演会】

■講演会の内容とても参考になりました。子供にも直接聞かせたいようなものでした。

後援会役員の皆様、ごくろう様です。今後ともよろしくお願い致します。

■講演会、懇親会に参加しました。どちらもとてもすてきな会で、帰宅してから子どもにたくさん話をしました。

大学の先生方、保護者の方々とゆっくりお話しすることができ、益々大学が好きになりました。

運営に関わる方々にも、ていねいに対応していただきました。ありがとうございました。

■今日は、貴重な時間有難うございました。興味がある講演会の内容だったので聞けて嬉しかったです。

ただ私が座ってた席は、部屋の真ん中だった為プロジェクトもモニターも見えにくかったです

■子供からもよく梅原先生の話題が出ておりましたので、

楽しみにしていました。

30分の講演では語り尽くせないほど豊富なご経験と自由な発想、行動力、周りが応援したくなるようなお人柄を知ることができ、楽しめました。

一人だと思いつかないことが複数人集まることで得る新しい視点のお話、子供に学んでほしいことのひとつだと思いました。オランダ、デンマーク、行ってみたいになりました。

まずは大阪万博オランダ館、梅原先生のお話を頭に入れて行ってみようと思います。

■講演会は、話が少しわかりにくかったです。

■講演会からの参加でしたが、梅原教授のオランダ・デンマーク滞在中の御体験を通して新しい建築の構想を学ばれたお話を感銘を受けました。学部問わず、先生方の貴重なお話を学生にも是非ご教授頂けたら幸いと思っております。

■講演会から参加させていただきました。

梅原先生の「実体験をもって建築空間へ」のお話は、たくさんのスライドからイメージの世界に浸りながらとても興味深く拝聴することができました。

また、プロであっても設計から実際に建築物になるまでの過程は1割程とのお話を伺って、本当に厳しい世界なのだということも改めて知ることができました。

■去年に引き続き講演会と懇親会に参加させて頂きました。親元から離れて進学したので、色々心配もあり息子の担任の先生とお話をさせて頂けるのは貴重で有り難いです。

■講演会も貴重なお話を楽しくきかせていただきました。

■梅原教授の講演はたくさんの写真があり、興味深く拝見しました。

なかなかオランダやデンマークのお話を伺う事はありますのでもっと余談をお聞きしたいな、と思いました。

総会では会長をはじめ役員の皆様のご尽力に感謝いたします。

## 【懇親会】

■別学年の保護者の方々とお話ができたのは良かったです。名札に学年まで記入くださると嬉しいなあ。

■今年度から先生との立食懇親会の復活というラッキーナ年に入学できて良かったです。

温かいお料理に、楽しい方々との歓談は新入生をもつ親としてはホッといいました。

先生からのお話も親としても参考になることがあり、早速我が子にも伝えなければと思いました。

■立食パーティーでは、沢山の先生が出席して下さりうちの息子は、どの先生にお話を聞けば良いか?も教えて頂けて有り難かったです。

会費制でも良いので今期中にもう一度開催してほしいと思いました

■先生方と直接お話できる大変貴重な時間でした。

先生方から、子どもの学校での様子も聞け、また多彩な分野から活力のある先生方で安心しました。

ありがとうございました。

■懇親会で3・4年生の学生生活 就活の現状など先生とお話しする事ができ大変貴重な時間を過ごす事ができました。

ありがとうございました。

■懇親会では、先生方や保護者の方と話をすることができ、子供の様子も少し知ることができ、良かったです。

■初めての立食形式で戸惑う事がおおくありました。各部別のテーブルでしたが、なんとなく始まったかんじで、担当の教授がどなたかわからない状況でした。

テーブルでの仕切りをしてくれる方がいてるとよかったです。積極的に保護者と話をされる方もいてましたが、教授同士で話をされていた方もおられました。

(教授の方も、なかなか機会がないかもしれません)保護者の名札ですが、子供の学年の表示があれば、同学年の保護者と話がしやすいのではないかと思います

参加されている学部の教授の名前と担当教科の一覧があれば、保護者から教授に話をしに行きやすいと思います。次回も、あれば参加をしたいのでよろしくお願いします。

■六年ぶりの懇親会で先生方の貴重なお時間を一緒にさせて頂きました。

日々の学びは大変ですが、いつか自分の糧になるようなお話を伺えて良かったです。

中々大学の先生方とお話する機会が多く恐縮しておりますが、参加させて頂き有意義な時間を持てました。有難うございました。

立食パーティーでは学部学科の先生方や保護者の方々ともお話をさせていただき、おかげさまでとても有意義な時間を過ごすことができました。お料理も美味しくいただきました。

また次回、このような機会があればぜひとも総会から参加させていただき、大学についての理解を保護者目線ではありますが深めてみたいと思いました。ありがとうございました。

■懇親会はとても盛り上がり、教授に困っていることのお願いもでき本当に良かったです。

■6年ぶりの立食パーティーでは同じ学科の保護者の方と色々お話をできとても楽しかったです。

また来年も参加したいです。

■懇親会では日頃お世話になっている先生方とお話をすることでき子供の大学生活がなんとなくわかりました。

参加させていただき本当にありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。



# 2024(令和6)年度 事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

2024年度は、事業計画に基づいて、①家族間で相互理解を深めるための活動②学生士気向上への支援活動③大学のイメージアップと会員相互の親睦を図る活動を目標に活動をしました。

## 1 家庭との連携

後援会活動や大学について知って頂き、また後援会員の交流を図るため、後援会より年2回（春号、秋号）発行しました。2024年の後援会では、就職部からの就職動向の紹介、学務課からの各種奨学金の案内、その他後援会活動の報告や、教員の紹介などを掲載しました。

後援会よりの表紙デザインを募集し、学生さんや保護者の方から多数応募頂き、後援会役員による厳正なる選考の結果、2025年度の春号、秋号の表紙案を決定しました。

また、就職部主催の保護者向け就職セミナーの案内を送付し、10月14日就活オンラインセミナーを開催、1部((株)リクルート)、2部(就職部)の2部構成、参加者は280名でした。

その他、大学発行の「学園報」、新入生の保護者には「出席集計システムの利用方法のご案内」、ご子息の「成績表」とともに「教育懇談会のご案内」の送付などの大学行事への補助をしました。

## 2 学生支援

寝屋川キャンパストレーニングルームへ、トレッドミル2台、四條畷キャンパス1号館入口へウォーターサーバー1台を寄附、並びに学位授与式・入学式で利用したARフォトフレームは、システム開発した学生へ援助。学会発表補助やクラブ活動援助金、三文の徳食堂、学生応援day支援など、学生の勉学、課外活動、就職活動、学生生活アメニティ改善に対する援助を行いました。その他、秋田県大潟村ソーラースポーツラインで開催された「ワールド・グリーン・チャレンジ2024」に参加した自由工房EVプロジェクトチームへの支援や福島県で開催されたテクノフェアin 新地町への学生の交通費の支援も行いました。

## 3 大学祭（寝屋川）、なわフェス（四條畷）

2024年度の大学祭ではプラカップでコースター作り、輪投げや喫茶コーナーを出店し近隣住人や学生さんに楽しんでいただきました。なわフェスは対面での開催となり大学祭同様、工作やゲームの出店をしました。

## 4 大学探訪、大学行事参加

大学内の様子を保護者の方に紹介するため、キャンパス内探訪を実施し、後援会役員が学生と共に講義を受けました。また、寝屋川キャンパスでは、3D造形先端加工センター、自由工房ソーラーカーの見学、それぞれ体験も交えての説明をしていただきました。

2024年度なわてんはオンライン開催に加えて、寝屋川キャンパスで一部の作品の展示も行われました。出展作品を閲覧し厳正な審査を行い、後援会賞を決定し表彰、合計22点に副賞の支援をしました。なわてんグランプリは対面とオンラインのハイブリッド開催となり、後援会賞表彰式では大西克彦総合情報学部長に会長のメッセージを代読していただきました。

前年度に引き続き、建築学科卒業制作展において、優秀な卒業作品賞にも支援しました。



# 2024(令和6)年度 収支決算報告

2024年4月1日～2025年3月31日

(単位 円)

## ■ 収入の部

費目	予算額	決算額	会費徴収内訳
会 費	29,010,000	29,010,000	2024年度新入生(大学) 1,410名(@20,000) 28,200,000
受 取 利 息	0	9,686	〃(大学院前期課程) 79名(@10,000) 790,000
デビットカード還元	0	891	〃(編入学生) 2名(@10,000) 20,000
前 期 か ら 繰 越	8,127,375	8,127,375	
合 計	37,137,375	37,147,952	合 計 1,491名 29,010,000

## ■ 支出の部

費目	2024年度予算額	2024年度決算額	備考
通 信 費	3,500,000	2,657,837	成績表送付費用援助2回、後援会より・学園報2回郵送料等
広 報 費	7,000,000	6,597,140	後援会より(2024年春・秋号)、キャンパスカレンダー、HP更新
大 学 行 事 补 助 費	3,000,000	2,374,824	別注手提袋(布)、教育懇談会支援等
学 生 教 育 支 援	1,000,000	371,040	なわてん後援会賞・各賞副賞の支援
就 職 対 策 补 助 費	800,000	357,604	学生・保護者向け就職関連情報提供に関する諸費用(はがき作成、郵送料)
課 外 活 動 补 助 費	800,000	505,572	クラブ活動援助金他
学生福利厚生補助費	5,000,000	3,967,641	三文の徳食堂、学生応援day支援、トレッドミル2台(寝屋川)、ウォーターサーバー(四條畷)
入学記念品補助費	1,700,000	1,683,770	入学記念品シャチハタ印
研究発表等補助費	2,000,000	1,487,360	学会発表交通費等補助(学部生44名、院生67名)
集 会 費	1,000,000	475,207	後援会総会、役員会等
行 動 費	700,000	410,473	大学祭・なわフェスへの支援、模擬店出店等
会 員 相 互 扶 助 費	500,000	412,924	弔慰金(会員9名、学生2名)、供花、弔電
事 務 費	1,500,000	972,403	コピー機リース料、会員送付用封筒、事務用品、消耗品、印刷費等
業 務 委 託 費	5,350,000	5,202,440	後援会業務及び書類発送に係る業務一式、取材(後援会より)等
涉 外 費	200,000	127,000	各種団体支援
手 数 料	350,000	343,530	後援会費振り込み手数料
予 備 費	737,375	0	
積 立 金	2,000,000	2,000,000	
次 期 へ 繰 越	0	7,201,187	
合 計	37,137,375	37,147,952	

現 金 預 金 7,201,187

会計監査報告

積立金(定期預金) 10,000,000

帳簿並びに関係証票書類を監査の結果、いずれも適正に処理されているものと認めます。

2025年4月29日

以上の通り報告いたします。

会計

市田ひかる



会計監査

白 寄 学  
辻 本 敏 行

# 2025(令和7)年度 事業計画

2025年4月1日～2026年3月31日

後援会は学生の保護者と教職員が連携し教学の使命達成に協力する集まりです。

家族の方々が、大学生活や大学について理解を深めることによって、家族間の相互理解を深めることを目指しています。さらに、後援会として学生と大学を物心両面で支援し、保護者同士の親睦を図るとともに、大学教職員との交流を図り、事業を円滑に進めます。

年2回発行する「後援会たより」や後援会ホームページで、大学生活や大学の情報を提供するとともに、後援会が実施する様々な取り組みを通じて、参加された保護者、家族の方が、大学生活及び大学について、より一層理解を深めていただけるよう努めています。

勉学面、家族・学友・教職員との関係など、充実した大学生活が送れ、人格的にも成長が図れるための環境作りの支援を進めるとともに、周辺地域の方々から、学生や大学に対して好感を持っていただけるよう、地域との交流を図ります。

今年度の事業計画は次のとおりです。具体的な行事や取り組みは、役員会などで検討し、提案します。積極的な参加をよろしくお願いします。

## 1. 家族間で相互理解を深めるための活動

- (1) 後援会たより（会報）の発行、送付
- (2) 教育懇談会への支援
- (3) 総会及び懇親会（先生方との意見交換等）の開催

## 2. 学生士気向上への支援活動

- (1) 学生の学会参加への支援
- (2) なわてんへの支援  
(案内状送付及び優秀作品に対する後援会賞授与)
- (3) クラブ活動への支援
- (4) 大学祭（寝屋川キャンパス）、なわフェス（四條畷キャンパス）に対する支援  
(会員による模擬店出店等)
- (5) 学生の福利厚生への支援（三文の徳食堂・学生応援dayへの協力）
- (6) 貸与奨学金制度（友電会－大学同窓会組織－との共同施策）
- (7) 情報系資格取得者への支援（受験料の支援）

## 3. 学生のキャンパスライフを知る活動

- (1) キャンパス探訪実施  
授業見学、キャンパス見学（寝屋川キャンパス、四條畷キャンパス）
- (2) イベント参加等によるキャンパスライフウォッチ  
(大学祭、なわフェス等)

# 2025(令和7)年度 収支予算

2025年4月1日～2026年3月31日

会費内訳

(単位 円)

2025年度 新入生（大 学）	1,325名 (@20,000)	26,500,000
〃 (大学院前期課程)	86名 (@10,000)	860,000
〃 (編入学生)	3名 (@10,000)	30,000
在 学 生	1名 (@20,000)	20,000
合 計	1,415名	27,410,000

## ■収入の部 (単位 円)

会 費 合 計	27,410,000
前 期 か ら 繰 越	7,201,187
收 入 合 計	34,611,187

## ■支出の部 (単位 円)

費 用	2024年度予算額	2025年度予算額	備 考
通 信 費	3,500,000	3,000,000	後援会たより2回、学園報2回郵送料等
広 報 費	7,000,000	7,000,000	後援会たより(2025年春・秋号)、キャンパスカレンダー、HP更新
大 学 行 事 補 助 費	3,000,000	200,000	教育懇談会支援
学 生 教 育 支 援	1,000,000	2,500,000	情報系資格取得者へ受験料の支援、なわてん後援会賞
就 職 対 策 補 助 費	800,000	0	
課 外 活 動 補 助 費	800,000	800,000	クラブ活動援助金他
学 生 福 利 厚 生 補 助 費	5,000,000	5,200,000	三文の徳食堂、学生応援day支援、学生福利厚生に関わる費用
入 学 記 念 品 補 助 費	1,700,000	1,500,000	入学記念品シャチハタ印
研究発表等補助費	2,000,000	2,000,000	学会発表交通費等補助(学部生、院修士学生)
集 会 費	1,000,000	1,700,000	後援会総会、学科別懇親会、役員会等
行 動 費	700,000	600,000	大学祭・なわフェスへの支援、模擬店出店等
会 員 相 互 扶 助 費	500,000	500,000	弔慰金、供花、弔電
事 務 費	1,500,000	1,200,000	コピー機リース料、会員送付用封筒、事務用品、消耗品、印刷費等
業 務 委 託 費	5,350,000	5,400,000	後援会業務及び書類発送に係る業務一式、取材(後援会たより)等
渉 外 費	200,000	200,000	各種団体支援、地域貢献活動支援等
手 数 料	350,000	0	
予 備 費	737,375	811,187	
積 立 金	2,000,000	2,000,000	周年事業や特に必要と認める事業
	37,137,375	34,611,187	

## 2025年度 後援会役員名簿

役職名	氏 名	学 科	役職名	氏 名	学 科	学 内 幹 事
会 長	十 河 欣 也	1 S	幹 事	坂 口 典 央	2 E	副 学 長 兼 宗 進
副 会 長	前 田 真 弥	4 W	幹 事	武 田 由 加 子	2 F	副 学 長 渡 部 隆 志
副 会 長	幸 剛 史	3 T	幹 事	野 口 美 和	2 T	工 学 部 長 入 部 正 繼
会 計	脇 阪 佳 工	3 H	幹 事	日 賀 井 こ ず え	1 C	情 報 通 信 工 学 部 長 小 森 政 翁
会 計 監 査	白 寄 学	2 W	幹 事	藤 丸 ひ ろ み	2 D	建 築 デ ザ イ ン 学 部 長 上 善 恒 雄
会 計 監 査	辻 本 敏 行	(大学会計課長)	幹 事	八 尾 友 紀	4 S	健 康 情 報 学 部 長 太 田 曜 美
幹 事	愛 地 景 予	2 P	幹 事	吉 田 千 奈 都	2 U	総 合 情 報 学 部 長 大 西 克 彦
幹 事	生 田 昌 代	3 B	顧 問	竹 内 真 秀		共 通 教 育 機 構 長 原 田 融
幹 事	井 爪 順 子	3 H 3 W	顧 問	石 橋 美 和		大 学 院 代 表 藤 川 智 彦
幹 事	井 上 恒 子	3 C	顧 問	市 田 ひ かる		大 学 事 務 局 学 事 部 長 岩 村 真 吾
幹 事	浦 田 梓	2 L				学 務 部 長 溝 井 浩
幹 事	河 合 真 寿 子	3 J				学 務 部 事 務 部 長 早 野 秀 樹
幹 事	河 渕 友 香 里	3 N				キャリアセンターエネルギー部長 土 田 修
						四 條 略 事 務 部 長 不 破 信 勝
						入 学 セ ン タ 一 次 長 中 村 文 俊
						学 事 課 長 矢 / ゴ か お り
常 任 幹 事						
大 学 事 務 局 長 寺 西 正 光						

## 2025年度 会員の地域別分布状況(大学・大学院)

府県別	会員数
北海道	6
青森	0
岩手	0
宮城	3
東北秋田	0
山形	1
福島	1
小計	5
茨城	2
栃木	3
群馬	3
埼玉	1
千葉	3
東京	9
神奈川	6
小計	27

府県別	会員数
新潟	2
富山	10
石川	14
福井	16
山梨	0
長野	14
岐阜	7
静岡	14
愛知	14
小計	91
三重	42
滋賀	202
京都	507
大阪	3,144
兵庫	1,058
奈良	352
和歌山	92
小計	5,397

府県別	会員数
鳥取	12
島根	6
岡山	27
広島	23
山口	11
小計	79
徳島	33
香川	30
愛媛	24
高知	6
小計	39
合計	5,737

府県別	会員数
福岡	12
佐賀	1
長崎	4
熊本	5
宮崎	7
鹿児島	2
沖縄	5
小計	39
合計	5,737

2025.9.1現在

## 在籍学生数

学科	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
電気電子工学科	90	3	93	95	3	98	91	5	96	78	0	78	354	11	365
電子機械工学科	88	4	92	91	2	93	105	3	108	85	3	88	369	12	381
機械工学科	100	3	103	107	3	110	102	1	103	89	2	91	398	9	407
基礎理工学科	0	0	0	6	0	6	68	10	78	51	4	55	125	14	139
基礎理工学科 数理科学専攻	42	9	51	41	3	44	0	0	0	0	0	0	83	12	95
基礎理工学科 環境化学専攻	39	8	47	45	3	48	0	0	0	0	0	0	84	11	95
環境科学学科	0	0	0	8	0	8	109	8	117	83	6	89	200	14	214
建築学科	0	0	0	5	0	5	89	9	98	72	9	81	166	18	184
計	359	27	386	398	14	412	564	36	600	458	24	482	1,779	101	1,880
情報工学科	165	10	175	182	9	191	166	7	173	178	3	181	691	29	720
通信工学科	87	4	91	103	6	109	92	4	96	87	6	93	369	20	389
計	252	14	266	285	15	300	258	11	269	265	9	274	1,060	49	1,109
建築・デザイン学科 建築専攻	52	12	64	53	13	66	0	0	0	0	0	0	105	25	130
建築・デザイン学科 空間デザイン専攻	77	17	94	80	24	104	0	0	0	0	0	0	157	41	198
計	129	29	158	133	37	170	0	0	0	0	0	0	262	66	328
医療健康科学部 医療科学科	2	0	2	86	10	96	95	5	100	62	10	72	245	25	270
医療福祉工学部 理学療法学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
医療健康科学部 理学療法学科	0	0	0	35	6	41	29	7	36	39	11	50	103	24	127
医療健康科学部 健康スポーツ学科	0	0	0	58	11	69	64	8	72	54	2	56	176	21	197
健康情報学科 医療工学科専攻	46	11	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	11	57
健康情報学科 理学療法学科専攻	37	5	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	5	42
健康情報学科 スポーツ科学専攻	70	6	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	6	76
計	155	22	177	179	27	206	188	20	208	156	23	179	678	92	770
デジタルゲーム学科	152	13	165	139	19	158	156	15	171	120	18	138	567	65	632
ゲーム & メディア学科	127	22	149	98	23	121	119	22	141	103	17	120	447	84	531
情報学科	98	7	105	95	11	106	107	12	119	89	5	94	389	35	424
計	377	42	419	332	53	385	382	49	431	312	40	352	1,403	184	1,587
合計	1,272	134	1,406	1,327	146	1,473	1,392	116	1,508	1,191	96	1,287	5,182	492	5,674

## ■ 大学院 工学研究科・医療福祉工学研究科・総合情報学研究科

専攻	博士前期課程(修士課程)			博士後期課程			総計															
	1年次	2年次	合計	1年次	2年次	3年次	合計	1年次	2年次	合計												
工学研究科	42	6	48	43	7	50	85	13	98	0	0	0	0	1	1	86	13	99				
医療福祉工学研究科	8	3	11	12	4	16	20	7	27	1	0	1	0	0	0	1	21	7	28			
総合情報学研究科	26	5	31	20	0	20	46	5	51	0	0	0	3	0	3	0	3	49	5	54		
合計	76	14	90	75	11	86	151	25	176	1	0	1	3	0	3	1	0	1	5	156	25	181

2025年度  
新任先生のご紹介・ごあいさつ

今年度4月より新しく着任された先生方をご紹介いたします。

先生方にはごあいさつの執筆をお願いし、または後援会の記者からインタビューさせていただきました。

お名前(所属)	担当科目



<

## 新任先生からごあいさつ



情報通信工学部  
情報工学科  
教授

なが の よし たか  
永 野 佳 孝 先生

## 学生と協働し、実践的な情報技術を活用したモノづくりを通じて、持続可能なデジタル社会の構築に貢献する

2025年4月より情報工学科に着任しました永野佳孝と申します。どうぞよろしくお願いします。

私は大学院で情報工学専攻を修了後、大阪市に本社を置く精密機械メーカーにて、メカトロニクス機器の新製品研究に従事してきました。主に画像処理やセンサを活用した自動制御機器の開発に携わり、医療機器の研究開発にも取り組む中で、社会人ドクターとして2010年に博士号を取得いたしました。その後、2011年より愛知県の大学に転職をし、モノづくりを通じた教育研究に力を注ぎ、多くの学生を社会へ送り出してまいりました。

私の研究スタイルは、専門家が直面する課題を情報工学の力で解決することにあります。現在は、博士課程でご指導いただいた脳血管内治療の専門医の先生とともに、カテーテル手術の自動化に関する研究を進めています、まったく異なるきっかけから始まったプロジェクトマッピングの自動化研究にも、映像制作と協力して取り組んでいます。この二つの研究は分野こそ異なりますが、いずれも画像を扱う点で共通しており、企業在籍時に培った画像処理と自動制御技術が活かされています。

教育面では、企業での経験も踏まえた指導を心がけています。情報技術の進化は私たちの生活を豊かにしましたが、子供たちにとってはリアルな世界での実体験や成功体験が減少し、その結果として、想像力や自己肯定感が育ちにくくなっていると感じています。成績にかかわらず、多くの学生が情報技術に必要な論理的思考力や、実学に求められる実物と数理の結びつきに課題を抱えているように思います。学生の成長には、実学と論理的思考力を強化する課題設定と、それを達成する成功体験の積み重ねが不可欠だと考えています。

就職指導に関しては、私自身が情報系から機械系メーカーに就職した経験を活かし、学生の進路選択の幅を広げる支援をしていきたいと考えています。

情報分野の人材は、あらゆる産業において必要とされていますが、学生視線では、情報を主力としない企業まで調査が及ばないことが多いのが現状です。学生がより良い人生を歩めるよう、視野を広げる指導に努めてまいります。

卒業研究では、私の研究テーマである自動化に関する課題に学生と協働して取り組み、情報技術を活用したモノづくりに対応できる技術者の育成を図ります。マネキンを用いたプロジェクトマッピング展示については、学生と協力しながら京都勧業館「みやこめっせ」にて高校生向けに実施させていただきました。プロジェクトマッピングに関しては、本学に赴任した際から、ぜひ取り組みたいと考えている企画があります。寝屋川駅で鉢かづき姫の石像を目にした際、この石像を活用したプロジェクトマッピングを学生と一緒に実施したいという思いが芽生えました。この石像は寝屋川駅の西口に設置されていますが、通学路から外れているため、鉢かづき姫の存在を知らない学生が多く、地域の文化資源として十分に認知されていないようです。そこでまずは、学生と協力してこのプロジェクトマッピングを実施することで、本学による地域貢献の第一歩として取り組んでまいります。



## プロフィール

1993年	豊橋技術科学大学大学院工学研究科 修士課程 情報工学専攻修了
1993～2011年	NTN株式会社
2010年	名古屋工業大学大学院工学研究科 博士後期課程 情報工学専攻修了
2011～2015年	愛知工科大学工学部 准教授
2015～2025年	愛知工科大学工学部 教授
2025年	大阪電気通信大学 情報通信工学部 情報工学科 教授就任

## 新任先生からごあいさつ



情報通信工学部  
通信工学科  
教授

の たけ たか し  
野 竹 孝 志 先生

## 研究と教育について

本年4月より、情報通信工学部通信工学科にてお世話になっております野竹孝志と申します。歴史と伝統のある本学通信工学科にて、研究と教育に従事する機会を与えていただき、大変光栄に存じております。学生の成長と本学のさらなる発展のために、微力ながら尽力したいと考えております。

出身は、トヨタ自動車で知られる愛知県の豊田市です。小学生の頃は、名古屋テレビで夕方に繰り返し再放送されていた『機動戦士ガンダム』に夢中になっていました。ガンダムの動力源として設定されているのは、原子核同士を融合した際の質量欠損で放出される「核融合エネルギー」であり、これは最も有名な物理学者であるアルバート・アインシュタインの特殊相対性理論から導かれる帰結でもあります。小学生の私は、この核融合エンジンというものによく分らないまま興味を持ち、母に買ってもらったガンダム図鑑を参考に、夏休みの自由研究で各モビルスーツの性能や搭載された核融合エンジン出力についてまとめたことを覚えております。また、同様に小学生の頃に図書館で読んだ、『はだしのゲン』に出てきた原子爆弾の描写に戦慄と嫌悪感を覚えたのと同時に、なぜあれほど巨大なエネルギーが生み出されるのか、子どもながらに強い興味を抱きました。こうした影響もあり、大学では物理学を専攻し、卒業研究および大学院では原子核物理の研究に取り組みました。

大学院修了後も国の研究機関や大学にて、核融合反応を制御するための高温プラズマと電磁波動との非線形相互作用や電磁波散乱計測、大電力高周波電磁波を発生させる電子管の研究開発などに従事しました。その後、理化学研究所への異動を契機に、電磁波科学の延長としてテラヘルツ電磁波の発生・検出および応用に関する研究を進めております。テラヘルツ電磁波は、現在の無線移動通信規格で使用されている電波よりも周波数が100～1000倍ほど高い未開拓の電磁波であり、いまだ実用化途上にあります。その発生・検出・制御技術は、次世代の超高速・低遅延無線通信への応用はもちろんですが、イメージング、センシング、分光など、多岐にわたる応用が可能です。今後、

本学において学生の皆さんとこれらの研究と一緒に進めていくことを楽しみにしております。

一方、教育に関して申し上げますと、進行する少子化や生成AIに代表される情報技術の急激な進化により、すでに大学教育は大きな転換期に突入しています。これらの変化に適切に対応できない大学は、近い将来その存在意義を失うことになります。もっとも、こうした社会構造的問題に対して、大学の一教員ができることには限界があります。しかしながらミニクロな観点に立てば、個々の教員が果たすべき役割は明確です。それは、本学に入学してくる学生を、卒業後も志を持って社会で活躍できる人材へと責任をもって育成し、社会へ送り出し続けることです。これがまさに「言うは易し、行うは難し」ではありますが、幸いにも現状、本学卒業生に対する企業等からの高い評価が、さまざまな指標を通じて示されていることは喜ばしい限りです。一方で、自分の能力や将来のキャリアに自信を持てないまま進級・卒業していく学生も一定数存在しており、そうした学生が苦悩している現実も十分承知しております。また、本格的な大学全入時代が到来し、目的意識が希薄なまま大学へ入学てくる学生も増加しております。さらに、現代の学生たちは、膨大で玉石混交な情報環境の中でも、検索やAIにより瞬時に答えを得られることが当然であり、分からぬ問題に対して試行錯誤を繰り返し、自ら考える意欲や経験が不足しているように感じます。こうした状況が、近年の大学教育を一層難しいものにしていますが、かつて私自身が受けてきた単なる「知識の伝達」型教育に陥らぬように自戒し、学生の学ぶ意欲を引き出し、主体的な学びへと導く新たな教育手法を模索・確立していくことが、自らの責務であると考えております。

最後になりますが、学生だけでなく保護者の皆様との信頼関係も大切にし、本学において学生が楽しく充実した大学生活を送れるよう、全力で支援してまいります。保護者の皆様におかれましても、御子息・御息女への積極的な関与と温かいご支援・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## プロフィール

1999年	立命館大学 理工学部 数学物理学科 物理学課程 卒業
2005年	名古屋大学大学院 工学研究科 博士後期課程修了博士(工学)
2005年	文部科学省 核融合科学研究所 プラズマ加熱物理研究部門
2007年	福井大学 遠赤外領域開発研究センター
2009年	国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学研究センター
2022年	石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科
2025年	大阪電気通信大学 情報通信工学部 通信工学科

## 新任先生からごあいさつ



建築・デザイン学部  
建築・デザイン学科  
(建築専攻)  
教授

さかぐちたけし  
坂口武司先生

## 人と自然の対話が生まれる建築

2025年4月に建築・デザイン学部、建築・デザイン学科、建築専攻に教授として着任いたしました坂口武司と申します。このたびは皆様へのご挨拶の機会を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

私は本学から近い枚方市の出身で、その後阪神間で小中高時代を過ごしました。キリスト教系の中高一貫校に通っていたのですが、美術の先生と歴史の先生とのよき出会いがあり、建築を志すようになりました。大学、大学院時代は京都で下宿生活をしました。当時の京都は学生を大切にする気風が残っており、落ち着いた環境で建築を学ぶことができました。6年間の京都生活のうち、竹中工務店に入社しましたが、1年目に阪神・淡路大震災に遭遇し、復興対応で神戸の作業所で3年間奮闘いたしました。その後、設計部に着任して設計一筋に従事してまいりました。

## &lt;専門分野について：設計と研究とを両輪で&gt;

設計活動と研究活動を両輪として、建築環境デザインに取り組んでいます。なかでも積極的な外気利用により、利用者が自然の心地よさを感じ、かつ、省エネルギー・省CO<sub>2</sub>になる建築の設計に取り組んでいます（図1）。設計段階にとどまらず、実際の竣工後の建物の環境測定による環境工学的評価や、アンケート調査や行動調査などによる人間学的評価にも取り組み、その評価内容を次なる設計に活かす工夫をしています。

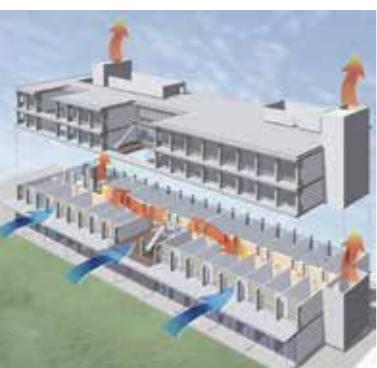


図1 高松大学新校舎棟

建物の基本骨格の工夫による自然換気システム  
(出典：日本建築学会 作品選集 2011)

一方、多様な自然環境において、人は様々な影響を受け、その感じ方やそこから生まれる行動も様々です。阪神間の六甲の山並みを望む高台に配された幼稚園舎（写真1）の設計においては、日々刻々と変化する移ろいを「五感」で感じ、たくさんの出会いと発見を繰り返し、人と自然を想う、豊かな心を育む空間づくりを心がけました。今後も、自然と人の心を結ぶ建築について、研究し、設計を実践していきます。



写真1 神戸海星女子学院マリア幼稚園

園舎から中庭、遠景に六甲の山並みを望む  
(出典：日本建築協会 建築と社会 2017年12月号)

## &lt;教育について：その先にどのような未来があるかを問う&gt;

今までの私の設計と研究の経験をふまえ、「人と自然の対話」を切り口に、小規模建築から大規模建築、そしてまちづくりまでを射程においた建築環境デザイン教育活動を行なっています。大切なことは、作品作りを通じて、社会の課題は何か、その解決のために建築を学ぶ者として何ができるのか、その先にはどのような未来があるのか、を常に問い合わせることです。建築を通じて自己実現し、社会に貢献できるような人材が生まれるよう心がけていきたいと考えています。

最後になりましたが、このたびは大阪電気通信大学におきまして教育と研究の機会をお与えいただきましたことに感謝を申し上げます。本学の発展のために、社会で役立つ人材の育成・輩出、社会に貢献できる研究活動に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## プロフィール

1992年	京都大学工学部建築学科卒業
1994年	京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了
1994～2025年	株式会社竹中工務店にて建築設計に携わる 大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 建築工学部門博士後期課程単位取得退学
2016年	博士（工学）
2018年	大阪大学工学部地球総合工学専攻建築工学 部門招聘教員
2018～2024年	大阪大学工学部建築・デザイン学部 建築・デザイン学科建築専攻教授
2025年4月	大阪電気通信大学 建築・デザイン学部 建築・デザイン学科建築専攻教授 一級建築士、CASBEE建築評議員

## 新任先生インタビュー



建築・デザイン学部  
建築・デザイン学科  
(建築専攻)  
教授

もりやこうじ  
守谷幸治先生

## 『建築生産マネジメント研究』の魅力を伝え、更なる社会的地位の向上を目指す

—大学をご卒業されて大手ゼネコンに就職されて以来35年間、建築関連業務に携わっておられました。今春、教員として本学に着任されましたが、会社員時代はどのようなお仕事を手掛けておられたのでしょうか？

入社後14年間は、建築現場での施工管理や内勤支援業務（工事計画、生産・技術・受注支援、技術開発など）に従事していました。その後7年間、ハンガリーに赴任し、プロジェクトマネージャーとして現地に進出する日系の製造業（自動車メーカーなど）の工場や各種施設の建築、営業活動、生産活動に取り組んできました。赴任3年後からは現法支店長に就任、管理業務など支店運営全般も担当していました。

2009年に帰任し、大阪本店で品質トラブルや補償工事対応業務に従事。11年からは福島第一原子力発電所事故の発生を受けて、主に関西地区の原子力発電所再稼働対応や原子力関連施設建築工事のエンジニアリング・受託業務などを行ってきました。

—本学ではどのような分野・研究を展開されていますか？

会社員時代、国内外の建築の最前線で培った経験、知識、技術をもとに、本学では「建築生産マネジメント」分野の研究・教育を展開しています。「建築マネジメント研究」は次の3つの研究で成り立っています。  
 • 現場施工や工場製作の実態調査と開発・改善に関する「建築生産技術研究」  
 • 建築工事のQCDSE（※）管理全般、生産性向上のための手法や仕組みに関する「施工計画・管理研究」  
 • 建築を取り囲む社会情勢や条件、ニーズ、ステークホルダー（※）の重要性などに関する「社会環境研究」  
 この3つの柱を中心に、現場の視点を出発点とした研究により、建築生産全体の社会的地位をより向上させていくことを教育目標としています。

※ QCDSE…建設プロジェクトの基本的な管理要素。Quality（品質）、Cost（原価）、Delivery（工期）、Safety（安全）、Environment（環境）の頭文字を並べたもの  
 ※ステークホルダー…利害関係者。発注者、設計者、施工者、近隣住民、行政、環境団体など。

—建築の道に進まれたきっかけを教えてください。

私は愛媛県で生まれ育ちました。県の職員だった父はダムや水道施設などの電気系技師で、その影響からか、子どものころから技術系の分野に興味を持っていました。得意科目は数学。大学の進路は建築分野に絞っていたわけではなく、正直に告白しますと「とにかく大学入学を機に一度島（四国）の外に出たかった（笑）」。

しかしながら関東の大学は実家から遠いし、なん

となく自分自身が馴染めそうになかったので除外。大阪大学工学部を志望しました。当時見た映画で、建築の勉強をする学生の姿がとてもかっこよく、自分もその道に進みたいと憧れて建築工学科に決めました。大学時代は鉄骨系構造・材料領域を専門としていました。

就職の際は関西を拠点とする大手ゼネコンが希望条件。理由は「事業の幅が広くて選択肢が多い。まだ適性を見極めていない自分がやりたいこと、向いている仕事が見つかりそう」。その通り、35年間の会社員生活では作業所、内勤支援部門、海外建築、原子力関連エンジニアリングなど様々な部署でやりがいのある業務経験を積むことができました。これは自分の財産であり、本学の教員としてのご縁につながったのもこの35年の日々の蓄積があったからだと思います。

—本学で教へんをとられて4ヶ月が経ちました。建築・デザインを学ぶ学生にどのようなことを伝えたいとお考えでしょうか？

昨年スタートしたばかりの新しい学部で私が担当するのは「建築生産マネジメント研究」です。あくまでも私の印象ですが、本学部の7割以上の学生はデザインや設計分野に強い興味を持ち、建築生産にはそこまでの関心を持っていないようにも感じます。また、建築生産現場内では様々な創意工夫や開発・改善、特許取得が行われているにも関わらず、論文化されるものが少ない傾向にあり、この面でのPRが弱いとも感じています。私自身は、ものづくりや完成に近づいていく工程が大変面白く、楽しい。この魅力を学生たちに伝え、社会的立ち位置を今以上に上げていくことが私の目標であり、使命でもあると思っています。

—本学の学生の印象をお聞かせいただけますか？

担当教員として建築の専門的な知見や技術を教えるという意味では優位にありますが、それ以外の部分では学生たちに日々、勉強させてもらっています。

私と同年代の仲間が集まるところ、話題が健康、退職、年金、介護といった夢のない話に偏りがちです（笑）。しかし、若者はとてもポジティブなんです。将来に対するとしても前向きですので、今の環境は仕事をしていく楽しいですね。

—これから未来に羽ばたいていく若者に向けて、先生から応援メッセージをお願いします。

伝えたいことはふたつ、あります。一つ目は「社会で結果を残している人は、自分や他人やモノゴトときちんと向き合い、しっかりと考えて、行動することができる（変わることができる）」と言う事実です。短期的な成果が得られない場合でも、必ず将来に繋がるので、このスタンスを持つことはプラスになると思います。

二つ目は、「人生の目標は幸せになることなので、優先順位を間違えないでほしい」ということです。結果を残すことよりも、幸せになることの方が、私自身は一番大事なことだと思っています。色々な価値観がありますが、学生一人ひとりが自分にとっての幸せは何かをしっかりと見て、それを手に入れてほしいと願っています。

## プロフィール

1990年	大阪大学工学部建築工学科卒業
1990年～2025年	株式会社竹中工務店に勤務
2025年4月	大阪電気通信大学建築・デザイン学部建築・デザイン学科建築専攻 教授に着任。 一級建築士。一級建築施工管理技士。一級土木施工管理技士。

## 新任先生からごあいさつ



メディアコミュニケーションセンター  
特任講師  
ながしまかずへい  
**長島和平**先生

## 未来に向けての基礎を大切に

## &lt;ご挨拶&gt;

2025年4月にメディアコミュニケーションセンターに着任した長島和平です。よろしくお願ひいたします。

前職では東京農工大学に勤務し、教員や学生が使う学内システムの管理業務を行なながら、プログラミング教育に関する研究を進めてきました。修士課程の頃から本学とはプログラミング教育環境「Bit Arrow（ビットアロー）」の共同研究で関わりがあり、この度の着任には縁を感じています。

## &lt;研究について&gt;

先にも述べましたが、私はプログラミング教育に関する研究に取り組んでいます。オンラインでプログラミング学習ができる環境「Bit Arrow」の開発を通じ、初心者のプログラミング学習を支援しています。特に、学習指導要領が新しくなり、高等学校の教科「情報」の必履修科目の中にプログラミングが含まれるようになったタイミングでは、多くの現場の先生方から申請をいただき、現在に至るまで実際の授業で利用されています。

プログラミングは、身边にある様々な機器を動かすために使われている基礎的な技術の一つです。プログラミングの仕組みを理解することは、機器やシステムなどの全体の仕組みに対する理解を深めうえでも重要なことです。しかし、はじめて勉強するときには、決まった文法に沿って書かないと動かなかったり、希望通りの動きをさせるための手順の構築ができなかったりと、つまずいてしまうこともあります。

Bit Arrowは、オンラインで事前準備をせずに使える環境です。エラーが発生したときにはエラーの発生場所を知らせるなど、初心者が学びやすいような工夫をしています。先生の視点からも、生徒がどんなプログラムを書いているか、エラーを出して困っていないか、というような状況を確認できるようになっています。

こうした支援機能による教育効果の向上や、学習者が実行しているプログラムのログを分析することによるつまずきの発見支援を通じて、教育現場を支

える研究に携わっています。

## &lt;教育について&gt;

本学では主にリテラシー科目とプログラミング入門科目を担当します。本学ではBYODを導入しており、学生の皆さんは自分のPCを4年間使い続けることになります。しかし、私生活ではスマートフォンの普及に伴い、PCを使った経験が少ない学生さんも多いでしょう。大学生活では、PCを使ってレポートを書いたり、課題を解いたり、色々な作業をすることになります。リテラシー科目で扱う内容は、そんな大学生活を送るうえで必要な技能を身につけるためのものです。もちろん、大学の中だけでなく、私生活でも必要となる情報倫理の知識や、社会に出てからも役に立つ知識や技能も含まれています。リテラシー科目で学んだ内容を、今後の人生につながることを念頭に、講義を進めたいと思います。

また、今後の学生生活や社会で必要になるという点では、プログラミングの入門科目においても同じことがいえると思います。前述のとおり、世の中の様々な機器はプログラミングで制御され、人々に恩恵を与えてくれています。近年はAIの発展がめざましく、プログラミングもAIに書かせる時代になるかもしれません。それでもプログラミングの能力は重要で、「プログラミングで何ができるのか」ということを理解すると、AIへの指示や、AIが誤ったものを生成した際の修正といった作業を効率よく行えます。

授業を通して、各学部・学科での学びを深めていくための第一歩を支えられるように、私自身も成長していきたいと思います。



## プロフィール

2022年	東京農工大学 工学府 電子情報工学専攻 博士後期課程 修了
2022年	東京農工大学 総合情報メディアセンター 特任助教
2023年	東京農工大学 総合情報メディアセンター 助教

## 新任先生からごあいさつ



健康情報学部  
健康情報学科  
(医療工学専攻)  
特任講師  
まつうらみなえ  
**松浦美苗**先生

## 医療を支える多様な力を育む教育を目指して

2025年4月に医療工学専攻に任期付特別任用教員として着任いたしました松浦美苗と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は大阪電気通信大学 医療工学専攻の12期生であり、当時は臨床工学技士を目指し日々学業に励んでいました。母校に戻って教壇に立つことは、非常に光栄であると同時にその責任の重さも強く感じております。

卒業後は臨床工学技士の国家資格をとり、大阪府内の病院や福井県内のクリニックで約9年間、勤務していました。主に透析業務に従事しており、透析業務全般や装置の操作・メンテナンスはもちろん、患者さんへの管理指導や新人スタッフの育成にも携わってきました。現場で培ってきた実践的な知識や経験をもとに、今後は教育の分野でも貢献できるよう尽力いたします。

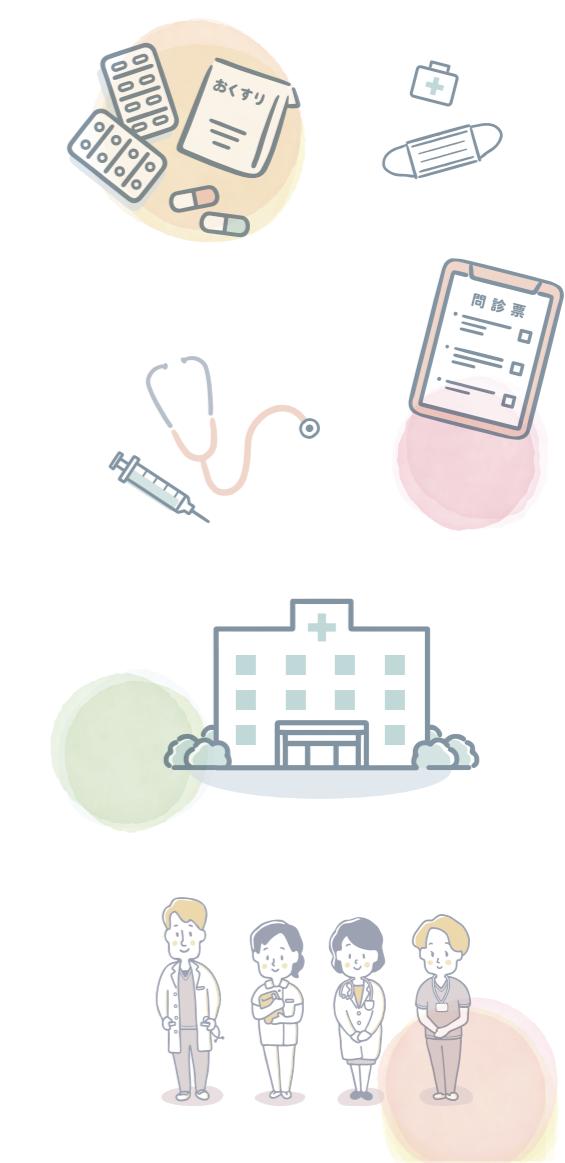
私の担当している「生化学」では三大栄養素である、糖質(炭水化物)・タンパク質・脂質が体内でどのようにしてエネルギーに変換されているのか、ビタミンや酵素、電解質はどのような働きをするのかを学びます。「薬理学」では薬の主作用や副作用、薬物動態などを具体的な薬を紹介しつつ学んでいきます。

臨床工学技士といえば「医療機器」というイメージが強いかもしれませんのが、実際の現場では医療機器の操作や管理だけでなく生化学や薬理学の知識も欠かせません。透析治療では、血液データの読解、薬剤の効果や副作用、リンやカリウムといった栄養素の制限指導など生化学や薬理学が密接に関わる場面が多くあります。こうした臨床経験を活かしながら学生の皆さんには「なぜ学ぶのか」「現場でどう生きるのか」を意識した、実践につながる授業を行っていきたいと考えています。

また、医療に携わることには、日々の緊張感と責任の重さがある一方で、患者さんと向き合う中で得られる信頼や感謝の気持ちが大きな励みとなり仕事のやりがいにもつながります。そうした医療の魅力や意義も、学生の皆さんにしっかりと伝えていけたらと思っています。

それぞれの進路にかかわらず、社会の中で自分の力を発揮できるよう専門知識に加え、柔軟な思考力や人との関わる力も育てていけるような教育を心がけてまいります。

本学の学生には、勉強で得られる知識だけでなく友人や先輩、先生との関わりや日々の経験を通して充実した学生生活を送ってほしいと願っています。医療の現場では、「チーム医療」という言葉があるよう、チームで連携しながら患者さんを支える力が求められます。学生生活で築いた人間関係や仲間とともに頑張った経験は、将来どの分野においても大きな力になります。友人たちと切磋琢磨しながら学びを深めていってほしいと思います。



## プロフィール

2016年	大阪電気通信大学 医療福祉工学部 医療福祉工学科 卒業
2016年	医療法人 北辰会 有澤総合病院 入職
2018年	医療法人 有恵会 香里ヶ丘有恵会病院 入職
2018年	医療法人 十全会 あすわクリニック 入職
2025年	大阪電気通信大学 健康情報学部 健康情報学科 医療工学専攻 特任講師

## 新任先生からごあいさつ



健康情報学部  
健康情報学科  
(スポーツ科学専攻)  
准教授

まつ なが だい すけ  
**松 長 大 祐 先生**

## スポーツ科学を通じて、 どんな時代にも活かせる 確かな力を身につけましょう

初めまして。2025年4月より健康情報学科に着任致しました。昨年まで、特任講師という立場で、本学で教鞭を執っていました。これまで以上に、本学の学生のこれからに向き合いながら、教育と研究に励みたいと思います。

### 〈研究について〉

私は、これまで自発運動（自発的に行う運動）と強制運動（強いられる運動）の効果の違いに関する研究を行っています。運動に関する研究は、強度や期間、年齢等と健康やパフォーマンスに及ぼす影響を関連付けたものが多いですが、その運動が自発的か強制的かという問題はあまり着目されていませんでした。このようなテーマに対して、神経科学の分野で研究をしています。

また、スポーツの実践研究として、器械運動の教授法についての研究も新たに始めました。私は、10年ほど体操競技に取り組んできた経験がありますが、教える立場になると動き方をどう伝えるかという問題に頭を悩ませた時期がありました。このような課題を解決するために運動中の意識に注目して、研究を進めています。

### 〈担当授業について〉

本学科では、器械運動、保健体育科教育法など教職に関連のある科目を多く担当しています。スポーツの価値や健康の大切さを伝えることができ、自ら実践できる人材が育つよう心掛けています。

### 〈担当している課外活動〉

本学では、バレーボール部の顧問兼監督をしております。バレーボールの出身ではないので、プレー・戦術の指導は、まだまだ勉強が必要を感じるばかりです。放課後にチームの組織運営の補助や学生と積極的にコミュニケーションをとっています。

2025年は、チームの努力が実り、50年ぶりに関西

## 大学バレー部連盟の3部に昇格しました。



### 〈学生に伝えたいこと〉

本学では、ご存じの通り、情報教育およびデジタルスキルの教育に力を入れています。スポーツ科学とは、文系と理系どちらの視点からも探求することができる総合的な学問です。スポーツを通じて我々は、そのリアルな経験の中で、様々な問い合わせや課題に直面することができます。学科には、それぞれの分野のエキスパートである教員がその解決方法について、ヒントを与えてくれるでしょう。本学科において、デジタルスキルとスポーツ科学を学ぶことで、これから社会を生きる確かな力になると思います。4年間、身体と頭を働かせて、楽しく学びましょう。



### プロフィール

出身地：奈良県  
高 校：奈良県立添上高等学校 スポーツサイエンス科  
大 学：立教大学 スポーツウエルネス学科(2017年3月卒)  
専門分野：行動神経科学、器械運動



## 新任先生からごあいさつ



健康情報学部  
健康情報学科  
(スポーツ科学専攻)  
特任講師

ひろ みつ ゆう や  
**廣光佑哉先生**

## 見て学ぶ仕組みを追う

2025年4月から健康情報学部健康情報学科スポーツ科学専攻の特別任用講師に着任しました、廣光佑哉（ひろみつ ゆうや）です。私は2022年に同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科を修了しました。前年度までは同志社大学の研究開発推進機構にて特別任用助手、同大学のスポーツ健康科学部の助手として勤務しておりました。今年度より、大阪電気通信大学という新たな地を踏みしめることができたこと、心より嬉しく思っております。

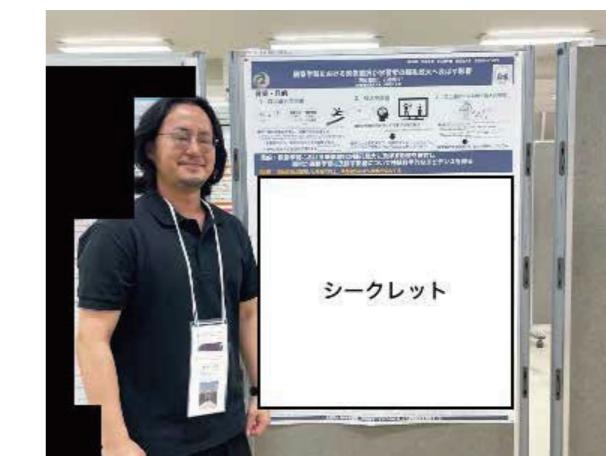
私の専門分野はスポーツ心理学で、特にヒトの「運動学習」や「認知機能」に強い興味があります。我々ヒトは様々な経験を通して学習し、物事を理解する機能を持っています。動作を覚える方法の一例として、見て（観察して）覚える方法があります。お手本を観察しながら身体を動かすことで、段々と動作を習得・学習することができます。私の研究では観察学習時の映像を学習者自らが決める場合、他者（例えば実験者や指導者）に決められる場合との学習効果の違いに焦点を当てています。

私達が普段行っている選択も実はヒトの学習に関わっています。ヒトは選択をしない時に失敗情報を受け取ると、モチベーションや意思決定に関わる脳部位の活動が減衰します。対照的に、選択した場合は増加することが報告されています。また、選択により運動学習を支援することも報告されています。私の研究ではこれらの選択の効果を背景に、選択により生じる観察学習の現象の理解、メカニズムを行動から脳神経レベルで検証しています。本研究を通して、将来的にはスポーツ、学校教育、そしてリハビリテーションへも役立てたいと考えております。

末筆ではありますが、新たな立場で迎えた大阪電気通信大学の地で、研究と教育の両輪でより一層活躍できるように邁進して参ります。これからどうぞよろしくお願ひいたします。



実験風景



研究発表風景

### プロフィール

- 2022年3月 同志社大学 スポーツ健康科学研究科 博士後期課程 修了
- 2022年4月 同志社大学 研究開発推進機構及び スポーツ健康科学部 特別任用助手（有期研究員）
- 2024年4月 同志社大学 スポーツ健康科学部 任期付教員（助手）
- 2025年4月 大阪電気通信大学 健康情報学部健康情報学科スポーツ科学専攻 任期付特別任用教員（講師）

# 2025年度就職活動の動向

キャリアセンター部長 土 田 修



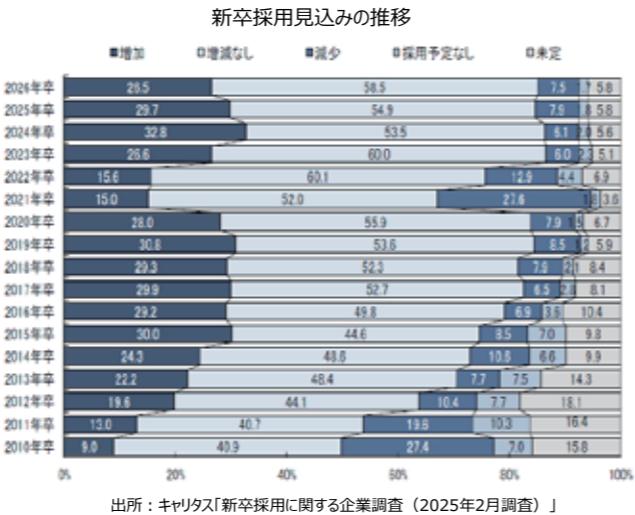
平素より就職支援にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本稿では、2025年8月時点の2026年卒就職動向と今後のキャリア・進路支援についてお伝えいたします。

## 1. 2025年度採用動向

2026年卒の大卒求人倍率は1.66と前年から0.09ポイント低下しましたが、企業の採用意欲は依然として堅調です。

また、2026年卒の採用見込みが前年より増加する(26.5%)と回答した企業は、減少する(7.5%)と回答した企業を大きく上回っており、採用を拡大する傾向が継続しています。



## 2. 2026年卒就職活動の傾向

### 1. 就職活動の早期化

- 優秀な学生を早期に確保するため、企業がインターンシップ等を通じた接触を前倒しで行っており、結果として就職活動が早期化しています。
- 2022年6月13日付改正「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(3省合意)により、インターンシップが本選考に直結する可能性が高まり、学生が早期から就職活動を開始する要因となっています。

### 2. 就職活動の長期化

- 内々定を早期に得る一方、より納得のいく企業を探すために活動を継続する学生が増加しており、就職活動の長期化に繋がっています。
- 採用目標を達成できず、採用活動を継続せざるを得ない企業が増加しており、結果的に就職活動の長期化を招いています。

### 3. 就職活動の多様化

- マイナビ等の就職情報サイトに加え、SNSや逆求人(スカウト)型サイト、就活エージェント等、学生が情報収集や企業との接触に利用する手段が多岐に亘っています。
- 安定志向の学生が増加し、企業を選ぶ際に重視する点が「仕事の内容ややりがい」だけでなく、「給与・休日」「福利厚生」等、個々人の価値観や状況に合わせて多様化しています。
- 学生が個々人の志向や状況に応じて、就職活動の開始時期や利用するツール、具体的な進め方を選択するようになり、画一的ではなく個別化された就職活動が行われています。

## 3. 就職活動に見られる課題

### 1. 安易に就職先を選択する

インターンシップからの早期選考等、企業の選考開始時期が早まることにより、学生は準備不足の状態で活動を開始している一面があり、自己分析や企業研究を十分に行わないまま、安易に就職先を選択してしまうことがあります。

### 2. 選択肢を限定し、視野を広げようとしない

就職情報サイト等に情報が溢れる一方、学生が接觸する情報は大手企業や知名度の高い企業に偏りがちです。

自身の興味や適性に合致する可能性のある他の選択肢に目を向ける機会をつくろうとしないことや、経済の先行き不透明感や社会情勢の変化から安定志向の強い学生が増加しており、給与水準が高く、福利厚生が充実している大手企業等に人気が集中し、自身の可能性を広げるような選択肢を選ばない傾向があります。

### 3. 主体的に取り組まない

自ら課題を見つけ解決策を考え行動することや、失敗から学び改善するといった経験が不足しており、就職活動を「自分ごと」として捉えず受け身の姿勢で臨み、自分から積極的に情報を取りにいき、行動を起こすことを回避しようとすることがあります。就活エージェントを利用する学生が増加していることも同様の要因が考えられます。

## 4. 今後のキャリア・進路支援

前述の課題を踏まえて、学生がより広い視野と主体性をもって進路を選択する上で、「自分を知る」

「社会を知る」「自分と社会とのつながりを実感する」ことができるよう、次のような観点でキャリア・進路支援の見直しを図ってまいります。

- 自己理解を深める機会を提供し、単なる就職対策ではなく、人生設計の一部としてのキャリアを考える視点を養う
- 多様な業界・企業との接点や就業体験の機会を提供し、視野を広げ、複数の選択肢を検討することの重要性を伝える
- 学生一人ひとりの状況に合わせた個別相談を強化し、個々の学生が主体的に行動するための具体的なアドバイスを行う

今後とも、キャリアセンターの活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ◆お役立ち情報はこちら





## IT系国家資格 受験料支援制度

2025年度より学部・学科を問わず後援会会員を対象とする制度として  
下記のIT系国家資格合格者の受験料相当分(7,500円)が支援されます。

### 国家資格 ITパスポート試験

これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる  
国家資格です。電通大生には特に取得を推奨する人気No.1講座です。

ITに関する知識にとどまらず、企業活動、経営戦略、会計や法務など、ITを活用するうえで前提となる幅広い知識が  
バランスよく習得できます。

### 国家資格 基本情報技術者試験

「デジタル人材の登竜門」として位置付けられ、電通大生にはぜひチャレンジしてほしい  
国家資格です。

ITを活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識・技能を持ち、実践的な  
活用能力を身に付けていることを証明できます。

### 国家資格 応用情報技術者試験

高度なIT人材が備えるべき応用的知識とスキルを証明する国家資格です。

IT技術者としての「応用力」を証明するワンランク上の国家資格です。システムの設計・開発を主導し、プロジェクト  
全体を成功に導く高度なIT人材として、キャリアアップの可能性が大きく広がります。

## 資格取得表彰制度

下記の資格取得者を対象に表彰する制度です。

入学後早い段階で資格取得の有効性を感じ、資格取得を通して知識定着や達成感を  
体験することで、いつそう学習意欲を高めるための支援制度です。



学長賞	学科で数名程度合格するレベルの資格取得者
学部長賞	学科の1学年の半数未満が合格するレベルの資格 取得者
学長 奨励賞	1年生のうちに、以下の情報系資格を取得した者  ★ITパスポート試験(受験料支援制度対象) ★基本情報技術者試験(受験料支援制度対象) ○情報セキュリティマネジメント試験 ○MOS ○CAD利用技術者試験

※学科の教育内容により資格取得への  
難易度が異なるため、表彰対象の資格は  
所属学科によって異なります。

冬期募集  
おすすめ講座

## 1日完結！MOS講座

<Microsoft Office Specialist>

夏休み実施(寝屋川)の同講座  
合格率100%

春休みの限られた時間を活用し、超短期集中型の学習で、効率よくMOS取得を目指します。  
パソコンのスキルアップとともに、就職活動において面接や履歴書での自己アピールに活用できます。

科目	日程	講義時間	試験時間
MOS Word	1/27(火)	9:00~16:30	16:30~18:00
MOS PowerPoint®	1/28(水)	9:00~16:30	16:30~18:00
MOS Excel®	1/29(木)	9:00~16:30	16:30~18:00



※一般レベルの内容です。 ※受講料:各25,000円(受験料含む) ※3科目セット受講の場合は、10,000円割引

## 2日完結！MOS Excel® Expert講座

わずか2日間でMOS Excel® Expert(上級レベル)を目指す講座です。すでに一般レベルの講座を  
受講(または申込み)済みの方を対象に、実務で即戦力となる高度なスキルを身に付けます。

科目	日程	講義時間	試験時間
Excel® Expert	2/4(水)	9:00~18:00	
	2/5(木)	9:00~16:30	16:30~18:00

※受講料36,000円(受験料含む)

### 冬期募集講座ラインナップ

募集期間:11/27(木)~12/11(木)

■ITパスポート試験 短期集中講座	47,100円	■1日完結！MOS Word365講座	25,000円
■情報処理2資格ステップアップコース	98,000円	■1日完結！MOS Excel®365講座	25,000円
■Python講座	24,700円	■1日完結！MOS PowerPoint®365講座	25,000円
■G検定講座	36,300円	■3日完結！MOS Associateコース	65,000円
■2次元CAD利用技術者試験2級講座 <基礎コースのみ>	10,120円	■2日完結！MOS Excel®365 Expert講座	36,000円
■2次元CAD利用技術者試験2級講座 <基礎+試験対策コース>	23,220円	■MOS Word365 Expert講座【WEB】	26,980円
■生成AIパスポート試験講座	24,800円	■MOS Excel®365 Expert講座【WEB】	26,980円
■【就活準備講座】SPI+CAB対策講座	3,300円	■MOS Expert 講座【WEB】(Word Expert+Excel® Expert)	48,960円

※記載金額はすべて受験料・テキスト代込みの料金です。一部対象外あり。

## 大阪電気通信大学 資格学習支援センター

◎寝屋川キャンパス 大阪府寝屋川市初町18-8 開室時間10時~17時 月~金

◎四條畷キャンパス 大阪府四條畷市清滝1130-70 開室時間10時~17時 火・木・金

Tel:072-820-9032 Mail:oecu-shikaku@ing-edu.com

講座の詳細、スケジュール、募集時期などは **HP** をご覧ください。

公式HPはこちら／



大阪電気通信大学より



## 提携教育ローンのご案内

本学では、保護者様等にかかる学納金の一時的な経済負担を軽減するため、入学金や授業料などの納付金を分割でお支払いいただける制度のご案内をしております。ご利用を希望される場合は本紙の内容をご確認いただき、下記ホームページからお申込みいただきますようお願い申し上げます。

**本学では学生支援の一環として利子補給奨学制度を導入しております。詳細は学務課（072-813-7588）までお問合せください。**

8万人以上の皆様にご利用いただいています。

### 大阪電気通信大学提携教育ローン「学費サポートプラン」

※学費サポートプランは、株式会社オリエントコーポレーションと提携した教育ローンです。

#### 毎月の返済額は固定なので安心

お支払い開始から完了まで手数料は固定。  
毎月の返済額が一定になるので、  
返済計画が立てやすくなります。

#### インターネットでかんたんお申込み

24時間365日、いつでもお申込みいただけます。  
ご来店の必要はございません。審査は最短1営業日で完了。

#### 一部線上返済が可能

毎月の返済額とは別にまとまった金額をご返済いただけます。  
いつでも、何度も1回につき設定金額は30,000円以上  
線上返済手数料は無料でご利用いただけます。

#### 学校提携の優遇手数料

実質年率 3.5% (固定)

#### <お申込みの流れ>

- STEP1 ホームページで、お申込みフォームに入力。
- STEP2 翌営業日に、審査結果をお電話またはメールでご連絡。
- STEP3 学校へ入金後、メールで完了のご連絡。

下記ホームページからお申込みください。スマートフォンでもスムーズにお申込みいただけます。

<https://www.osakac.ac.jp/>

※大阪電気通信大学ホーム > キャンパスライフ > 奨学金制度等について > 奨学金・教育ローン  
> 大阪電気通信大学提携教育ローン「学費サポートプラン」

株式会社オリエントコーポレーション



◎お支払い方法は、以下の2つのプランから選択いただけます。

通常払い　返済期間を短くしたい方におすすめです

在学中から分割支払額をお支払いいただくプランです。

元金返済

分割払手数料

お支払い開始 在学中 ご卒業 お支払い完了

ステップアップ払い　無理なく返済したい方におすすめです

在学中は分割払手数料のみのお支払い、  
卒業後は通常払いにてお支払いいただくプランです。

(元金の返済はなし)

分割払手数料

お支払い開始 在学中 ご卒業 お支払い完了

ご利用例 [ご利用金額： 800,000円 在学期間： 2年 ]

※実質年率 3.5% の場合

お支払いプラン	在学中	卒業後	最終月	支払総額	総支払回数(期間)
通常払い	分割支払額 / 支払回数(期間) 12,000円 / 74回(ヶ月)		2,861円	890,861円	75回(ヶ月)
ステップアップ払い	2,333円 / 24回(ヶ月)	12,000円 / 74回(ヶ月)	2,861円	946,853円	99回(ヶ月)

※ご卒業後にお支払いをお子様に引き継ぐ「親子リレー返済プラン」もお選びいただけます。

※一部線上返済も可能です(3万円以上)。線上返済手数料無料で何度もご利用いただけます。

◎学費サポートプランなら、追加利用の際もお支払いを1本化できるので安心です。

月々のお支払い額を余裕をもって設定されているなら  
⇒追加利用しても、月々のお支払い額はそのまま!



月々のお支払い額をなるべく少なく設定されているなら  
⇒ご利用合計金額にあわせて、月々のお支払いを一本化!



#### <学費サポートプラン概要>

- 対象費用：入学金・授業料・実験実習費等の学費  
申込者：保護者等 ※保証人は原則不要  
申込期間：納入期間に合わせ都度お申込み(審査最短1日)  
申込上限額：500万円

- 分割払手数料率：3.5% (実質年率)  
申込方法：Web・郵送でのお申込み(来店不要・全国対応)  
学費の振込：学校指定口座へ入金  
必要書類：学生証(合格証)など証明書／納付額の記載書類など  
※必要書類のイメージ画像をアップロードしてください。

「学費サポートプラン」のご案内



株式会社オリエントコーポレーション 本社／〒102-8503 東京都千代田区麹町5丁目2番地1

0120-517-325 お問合せ受付時間／9:30～17:30

(当社は電話リレーサービスに対応しています。)



# 第65回大阪電気通信大学大学祭活動報告

第65回大阪電気通信大学大学祭の活動について（大学祭実行委員会からの報告）

## 1. ご支援の御礼

この度は大阪電気通信大学大学祭にご支援いただき、誠にありがとうございました。実行委員一同、心より御礼申し上げます。



## 2. プロジェクト概要・開催日時

- 開催日時 2025年9月20日、2025年9月21日
- 開催場所 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス

## 3. 活動内容のご報告・実施した企画

### ・実施した企画

お笑い芸人ライブ、アニソンDJライブ、ふれあい動物園、VRお化け屋敷、模擬店、子供向けイベント、カラオケ大会、抽選会などの企画を実施しました。

### ・来場者数

2日間で延べ、4800名様にご来場いただくことができました。

### ・支援金の使用用途

大阪電気通信大学 後援会様からお寄せいただいた支援金は、メインステージの設営費用として大切に活用させていただきました。また、音響機材購入のご支援により、メインステージでの音響環境が大幅に向上了し、出演団体や来場者様からも「音が明瞭で良かった」と非常に好評でした。



## 4. 今後の活動について

今回の経験を活かして来年度以降もさらに充実した大学祭を目指してまいります。今後も地域の方や学生との交流を深め誰もが楽しめる場をつくっていきますので、これからも応援よろしくお願ひいたします。

## 5. 最後に

改めまして皆様のご支援に心より感謝申し上げます。今後とも本大学祭へのご支援ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



# 福島県新地町復興イベントに参加

私たち大阪電気通信大学工学部と、総合情報学部の学生の有志たちは、2025年3月25日(火)・26日(水)に福島県相馬郡新地町で開催された「テクノフェア in 新地町」に、震災復興支援ボランティアとして参加しました。

この地域では、2011年の東日本大震災と津波による甚大な被害から十数年が経過した現在も、物的・心理的・社会的な復興の道のりはなお続いている。そうした背景の中で本イベントは、未来を担う子どもたちに科学やICTの楽しさを届け、希望を育むことを目的として実施されました。

## 各研究室のブース紹介

### 齊藤研究室 (工学部 基礎理工学科 環境化学専攻)

顕微鏡観察体験では、ミジンコやゾウリムシや酵母等の微細な生物や植物の細胞を観察、自分の手に付着している菌等を見ることにより科学への好奇心を大きく刺激する場となりました。

### 森田研究室 (同上)

ペーパークロマトグラフィーによる花模様づくりでは、色とりどりの模様がにじみながら広がる様子に子どもたちは歓声を上げていました。

### 伊藤研究室 (工学部 電気電子工学科)

トランプ占いやくまの音楽隊などのブースでは、日常に潜む不思議や法則性を体感しながら学ぶことができ、科学の原理を遊びの中で楽しく伝える機会となりました。バランスをとる謎のハコのブースでは、物理的バランスや重心の変化に興味を持っていました。

### 由良研究室 (総合情報学部 ゲーム&メディア学科)

光のお絵描きや赤青アニメ、なりきりVチューバー体験といったICT技術を用いたコンテンツが好評を博しました。モーションキャプチャーや視覚的錯覚といった最新技術を、実際に体を動かしながら学べる貴重な機会となりました。

### 子どもたちと向き合う中の学び

本イベントは、大学生にとっても、教職を志す者として「子どもとの接し方」「伝え方の工夫」「学びを引き出す問いかけ方」などを実践的に学ぶ貴重な場となりました。

子どもたちの「なぜ?」「もっと知りたい!」という声に耳を傾け、寄り添う経験を通して、教育の本質に改めて向き合うことができました。

### 小瓶アクセサリー

また今回は、元四天王寺高校教諭・高野裕恵氏のご厚意により、天然石や金属ケイ素の小片が詰められた小瓶アクセサリーが、参加した児童全員にプレゼントされました。児童たちは目を輝かせながら、お気に入りの小瓶を選び、大切に持ち帰る様子が見られました。

### 復興と未来をつなぐ学びの場として

震災から10年以上が経過した今もなお、「復興」は完了したものではなく、続いているプロセスです。私たち大学生は、被災地に足を運び、地元の方々や子どもたちと交流を重ねる中で、「継続的な支援」と「教育の力」がいかに大切であるかを感じました。

## 最後に

このような意義深い学びの場を提供いただいた新地町教育委員会、後援会の皆様に、心より感謝申し上げます。今後もこの経験を糧に、科学の担い手として、地域社会とともに歩む姿勢を大切にしてまいります。

文責：高橋寛人



# 後援会も自由工房に協力 「白浜 ECO-CAR チャレンジ」に参加

私達、大阪電気通信大学 自由工房 EV班 Solar Team Ku-On は、国連が定めた SDGs「持続可能な開発目標」の一つである「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を実現するため、再生可能エネルギーを活用したソーラーカーの開発に取り組んでいます。私達の最終目標はオーストラリアで開催されるソーラーカーレースであるブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(BWSC)に出場することです。

今回私達は和歌山県白浜町で11月1日～2日に開催された「白浜ECO-CARチャレンジ」に参加しました。この大会は旧白浜空港に作られた一周約2.4kmの特設コースを第1ヒート、第2ヒート、第3ヒートの三回、合計8時間の走行時間で周回数を競う大会となっており、今回私達は4回目の参加となります。

10月30日に積み込みを行い、31日早朝に出発。11時30分に現地に到着し、テントの設営を行いました。一日を通して悪天候であったため、この日の試走は行わずに一日目は終了しました。11月1日の7時に大会のエントリー、バッテリとドライバーのチェックが行なわれました。その際にソーラーパネルの回路の一部に破損が確認され、パネルの半分ほどが発電しない状況となってしまいました。現地での修復は不可能であったため、やむを得ず平常時の半分ほどの発電量で走行する事になりました。

第1ヒートが9時45分より開始しましたが、車体の配線の不備により約1時間半遅れてピットスタートし、約1時間走行しました。その後、昼休憩を挟んで第2ヒートを14時にグリッドスタートし、2時間半問題なく走行すること



ができました。

第3ヒートは翌日11月2日10時に開始して無事にグリッドスタートを行えましたが、パネルの発電量の不足により1時間半走行した所でバッテリ切れとなり、残念ながらレース終了となりました。

総合の周回数は44周、約105.6km走行しました。今回の大会は主に電装系のトラブル

が多く発生し、対処に追われる形となりました。

今回の経験を糧に技術力の向上を目指し、入賞を狙えるように努力していくかと思います。最後になりましたが、後援会の皆様に頂きましたご支援、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。今後とも応援のほど、よろしくお願ひいたします。



# 施設見学・キャンパス探訪

寝屋川キャンパス

四條畷キャンパス

2025  
10/13  
(月・祝)

## キャンパス探訪とは？

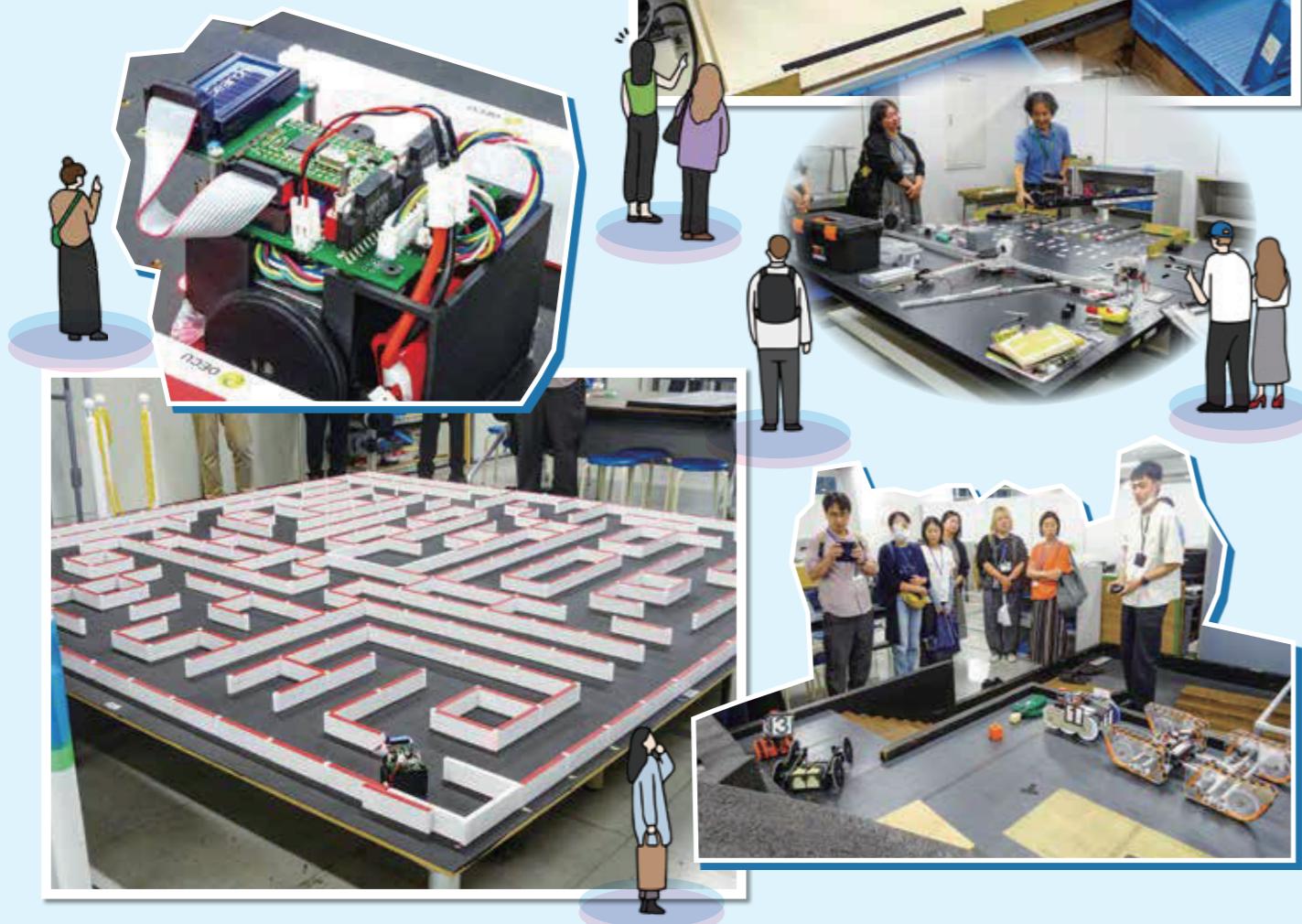
後援会の掲げた事業計画に基づき、後援会役員が保護者目線で大学内の様子を見学、取材記事を起こし紹介しています。  
秋の気配を感じつつまだ日射しの強い中、寝屋川キャンパス10時に集合し、自由工房を見学しました。学生さんの詳しい説明があり、役員のみなさまはとても興味をもって聞いておられました。  
その後、寝屋川キャンパス・四條畷キャンパスにわかれ、それぞれ探訪しました。

### 施設見学

#### 自由工房

「モノづくり」をしながら設計や回路、プログラミング、3Dプリンター、カメラ、進捗管理等、知識技術を幅広く学べるとてもよい環境だと思いました。

学生さんから自分達で作成したロボットの説明、そしてデモンストレーションをしていただきました。コンテストに多数出場してよい成績を収められているとのこと。将来電通大からエンジニアとして世界で活躍されることを楽しみにしております。



【参加者】井爪、脇阪、吉田、愛地、石橋、坂口、井上、日賀井、藤丸

寝屋川キャンパス

2限

#### 熱力学2

学年：機械工学科 2年  
教室：J-312  
教員：安永 健先生

##### 授業内容

- ・カルノーサイクル（熱機関）
- ・ランキンサイクル（蒸気熱機関）
- ・実在気体（水蒸気）

水も圧力で沸騰する温度が変わる。  
山の上は圧力が低く沸騰する温度も低い。水の温度が変われば密度も変わる。



参加者の感想  
身近に感じられる話を授業の間にしてくれたり、とても興味深く楽しく授業を受けることができました。

しかし実際の授業内容は、私には難しく残念ながらわかりませんでした。

そんな難しい勉強をしている学生達の姿を実際に見学させていただき、感動し誇らしい気持ちになりました。すばらしい先生方に恵まれた電通大生さんが羨ましくもあります。



#### コンピュータで文化を測る

学年：情報工学科1年、通信工学科1年合同  
教室：J-302  
教員：小森 政嗣先生

##### 参加者の感想

コンピューターの専門的でむずかしい話ばかりだろうと思っていたましたが、私達にもわかりやすいように身近な話も折り混ぜて、学生に寄り添って授業をされているのが印象的でした。

音がテーマということで先生のバイオリンの演奏がありとてもきれいな音色でした。

機会がありましたらまた演奏を聴かせていただきたいです。(笑)

普段何気なく聴いている音楽も、どのようにデータがとられてどのように成り立っているのかがわかり勉強になりました。ありがとうございました。



##### 授業内容

文化を測るためにPython（パイソン）を使う  
←一番ポピュラーなプログラミング言語である。

プログラミングで大事な三大要素

- ・変数
- ・関数
- ・制御構文

音楽で文化を測る

音とは波。周波数←音の高さは波長の長短、音の強さ(大きさ)は振幅の大小

音をコンピューターで扱う方法

- ・標本化（サンプリング）を行う
- ・量子化
- ・符号化

デジタル信号として  
コンピューターに  
取り込む

音の三大要素

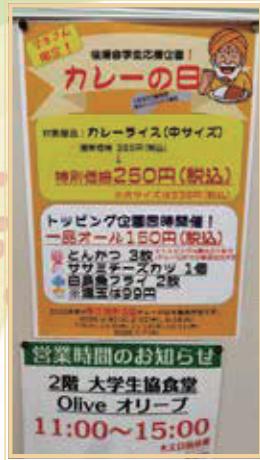
- ・高さ
- ・大きさ
- ・音色

音の強さ（大きさ）を測ってみる  
実効値から音圧のレベルを求める



昼食

## 生協食堂 2階「Olive」



食事をいただいたのは**生協食堂 2階「Olive」**。

この食堂はメインを選んでその取扱いカウンターに並びます。

受け取ったらサイドメニューを自分で選んで会計レジに行く方式です。

あまおうケーキは一ロサイズよりちょっと大きいくらいで疲れた頭へのご褒美にちょうどいいです。



お豆のサラダは薄味で箸休め。

週替わりのテーマは中部・東海フェアでした。あんかけスパゲッティや味噌カツもありましたが気になるメニュー、台湾混ぜご飯を選びました。他には栄養も考えてお豆のサラダ、みそ汁、あまおうのケーキを食べてみました。

3限

## ロボット工学

学年：電子機械工学科 3年

教室：J-407

教員：入部 正継 先生

### 授業内容

世界の最新ロボット技術

1. 2025年現在のロボット技術
- ・Boston Dynamics社・FIGURE社等のロボット紹介
2. 脚歩行で移動するロボットの必要性
- ・新しい移動手段として、不整地を歩く。
- ・生物運動の研究
3. 脚歩行ロボットの基本技術
- ・脚歩行で必要なバランスをとる技術→倒立振子（逆さ振り子）
- ・静歩行と動歩行
4. 技術の新展開：力学応用と生物模倣
- ・生物模倣
- ・力学原理を基にする受動的歩行。
5. ロボットを支える技術
- ・要素技術の発達によりロボットの社会実装の実現可能性が高まる。（工場労働力・売店での労働力・家庭内の労働力）

### 参加者の感想

最新のロボット技術の紹介にはじまり、開発の歴史の説明、ロボットの技術・仕組みの説明を聞きました。

ロボット開発は利益が出にくい、という話が印象的でした。

資料や説明が分かりやすく、ロボット開発に関わる情報を理解することができました。



## 情報セキュリティ工学

学年：情報工学科 3年

教室：J-514

教員：藤田 玄 先生

### 授業内容

共通鍵暗号の歴史（紀元前からの変遷）が順に説明されて、転置式であるレールフェンス暗号とスキュタレー暗号、換字式であるカエサル暗号についてわかりやすく紹介されていた。

小テストとして、暗号アルゴリズムと鍵の違いを属性、利用形態、機密上の観点で選択させる問題が出された。

暗号は、電信技術の発達とともに進化、機械を使っての暗号化を行うエニグマ、この暗号を解読するためのマシンを開発したアラン・チューニング、このチューニング氏に由来するコンピュータ界のノーベル賞であるチューニング賞といった興味深い説明があった。

講義の最後は、世界で初めて標準化された暗号であるDESについての説明があり、その後、DESの演習として、鍵情報を入れて暗号解読するものであった。

受講者は50名ほどで、藤田先生のわかりやすい説明の中、皆が落ち着いた雰囲気の授業で良かったです。



### 参加者の感想

「暗号化」というワードは、日常生活の中では、スマホで買い物をする際のクレジット決済等で目にしますが、何も気にしていなかった。また子供のころ、文字遊びで暗号ごっこをしていて楽しかった記憶がおぼろげにあるくらいでした。

今回、暗号化の歴史を聞いて、暗号化は先人たちの壮絶な知能合戦があり、その中で飛躍的に進化していることを知った。暗号を解くか解けないかで戦争の明暗を左右してきたと思うと暗号化の重みをずっしりと感じた。

今回は第2回目の講義でDESまでだったが、この先、現在までの暗号化の変遷もとても気になります。我々の財産とプライバシーは強固な暗号化で守ってもらっていると信じたいですが、これを日夜破ろうとするハッカー集団との闘いはどこまで続くのか心配は尽きませんが、この情報セキュリティ工学を学んだ学生達が、安全安心な社会づくりの一躍を担ってくれることを願っております。

## 建築材料・構成概論

学年：建築専攻1年、空間デザイン専攻1年合同

教室：J-302

教員：北澤 誠男 先生

### 授業内容

第2回 実例作品紹介

建築材料がどのようにデザイン要素となっているか

### 参加者の感想

授業は、事前に集められていた学生からの質問に対する回答から始まり、先生が一つひとつ丁寧に回答されていたのが印象的でした。資格に関する説明も具体的で、ご自身の経験を交ながら話されることでより現実的に学びのイメージを持つことができるのではないかと思いました。

また、材料ごとに建物の画像や工法について説明があり、授業を受けたことでこれから建物の見方が変わるような気がします。



### ①スチール

手塚建築研究所の仕事：森の学校キヨロ口

横文彦の仕事：風の丘の斎場

### ②ステンレス

丹下健三の仕事：東京カテドラル

### ③アルミ

ヘルツオーフの仕事：ウォーカーアートセンター

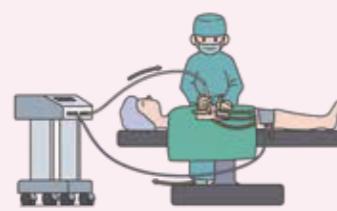
横文彦：TEPIA

妹島和世：すみだ北斎美術館



## 医用機器学概論

学年：医療工学専攻  
教室：8106  
教員：橋 克典 先生



### 授業内容

～電気メスについて（学生連記）構成～  
電気手術器の事、生体に高周波電流を流して生体を切開凝固させる。本体を投影してくれた。切開インジケータ出力を表示、出力の仕方モード有り。本体へ接続する線など（フルブルーフ）誤接続を防止する為、色々な工夫がされている。両手を使う場合、足で出力の変更が可能。フットスイッチの説明、必ずビニール袋に入れて使用。電源コード、3Pコンセント。音量ミュートにはならない構造 JIS 規格 モノポーラ 電極 黄色は切開  
体極板 2つのエリアに分かれている（スプリット型）  
はがれた時に有効に働いてくれる。バイポーラ電極ピンセットの形状に似ている。体極板がはがれると赤いエラー発報（60%切ると）。モノポーラのボタン押すと音が鳴る。

### 実験1

- ・回子切開時 80W → 体極板にのせてモノポーラの先端 → セル内の水に突っ込む
  - ・凝固 → 水面が振動している。火花が散る。スプレー mode 水がたまっている。
- 出力した際に水がブクブク（純切開モード使用）になった。熱い！

### 実験2

周波数はどうなるのか。  
オシロスコープ使用。モノポーラを近づけると波高が高くなる。  
離すと横線になる。390KHZ、凝固、波形、スコープが誤作動した。



## Practical English 2

学年：情報学科 2年  
教室：6107  
教員：南津 佳広 先生



### 参加者の感想

6107（演）教室にて「Practical English 2」の授業を見学。「キャラ語に注目しよう」をテーマにして、私たちの世代にとっては身近なマンガである「ドラゴンボール」の1シーンを実際に見ながら授業を展開。学生にとっては少し微妙な反応でしたが…（笑）。登場人物の孫悟空や亀仙人、ブルマのセリフを基にキャラの立場、性格、関係性を示す言語（役割語）を学習し、日本語と英語の表現のちがいに着目していた。主要な手がかりは8つあり、文末／一人称・呼称／ていねいさ／語彙／構文／談話標識／言語行為／スタンスのこと。

最も印象に残ったのは南津先生の指導方法である。終始、学生参加型の授業で、南津先生から学生への質問が多く、学生が積極的に授業参加できるような工夫がされていた。私たちも授業に参加させて頂いて、学生に気を遣ってもらいながら話し合い、ワークシートの作成に取り組むことができた。少し緊張感をもちらながら楽しく授業に臨むことができ、たいへん貴重な経験となった。

### 参加者の感想

医用機器の紹介では、本物の電気メスを準備して頂いた。実際に約400万で購入したとの事。实物を初めて見ました。手術の番組などで電気メスを使用して切開手術を見た事がありますが、詳細部位について解りやすく説明して頂き大変勉強になった。

人命に係る医用機器では接続ミスが発生しない様に電源コードは3Pコンセント仕様になっている。電気メスはJIS規格で統一されている。①モノポーラと②バイポーラの合計2本が使用される。実際に実験までして頂き①と②の特徴や注意事項の説明では非常に理解出来ました。中々直接電気メスの実験など見る機会などございませんが、本日は貴重な授業を受けられ非常に深いお話を拝聴出来ました。大変有難うございました。（学生数約50名）

橋先生：初めて耳にするワードが多かった中、何度も繰り返し言って頂け助かりました。授業後に学生のアンケート結果を共有されたり、質問に対し丁寧に回答され良い印象を持ちました。

### 昼食

## 6号館1階エル・スエヒロ

エル・スエヒロにて、日替わり定食の牛肉のジンギスカン焼定食を頂きました。安くおいしく頂きました。

世間は1食の値段も高騰している中、他のメニューも安く、量も多く学生にとってもうれしいのではないでしょうか。

季節が涼しくなり、外のテーブルで食事をしている学生もおりました。十分な食事をし、年後の授業も頑張ってほしいところです。

### 牛肉のジンギスカン焼定食



### 3限

## 機能解剖学演習

学年：医療工学専攻1年、理学療法学専攻1年、スポーツ科学専攻1年合同

教室：5205  
教員：小柳 磨毅 先生



### 授業内容

- ・理学療法士を目指している生徒対象の授業。
- ・先生と2人のスタッフで授業。
- ・職業訓練に似た授業（実習が多い）。
- ・13回の授業の中の2回目で一番基礎になる内容なため、特にしっかり時間をかけてていねいに授業を進めています。
- ・タブレットを使わず教科書と自分や隣の生徒の身体を使って授業。
- ・前半は靭帯組織をグループになってお互い探し合う授業で、1人がベッドに横になり身体のポイントにシールを貼って探しやすくし、見つけられたら写真を撮る。
- ・10分休憩後、後半は部位の骨模型を机に置いて教科書に場所を見つけ書いていく。

### 参加者の感想

教室に入った瞬間、骨の模型が何体も目に入り、マッサージベッドがたくさん並べてあり、授業受けるのがワクワクしていました。

先生は1人1人席に回ってていねいに指導していました。学生との距離が近く質問しやすいと思いました。

鳥口上腕靭帯を見つける時は五十肩がとても関係している所と言いました。必死に探しました（笑）

「インピングメント症候群」と難しい名称が出てきたのですが、佐々木朗希選手がなったと説明して興味深く聞きました。

座学だけでなく実際に触って確認するので、とても分かり易かったです。日常生活にとても役に立つ授業だと思います。ありがとうございました。



## 並列・ネットワークプログラミング・実習

学年：デジタルゲーム学科 3年  
教室：10214  
教員：横石 隆先生

### 授業内容

Mac の中で動作するプロセスを見てみよう。

その確認方法を操作しながら学ぶ実習を行います。

アプリケーション「ターミナル」からプロセス確認コマンド「ps」を実行すると、現在稼働中のプロセスに関する情報(プロセス ID、CPU 使用時間、実行ユーザー名など)が一覧で表示されます。このコマンドを利用することで、Mac 内部でどのプログラムが動作しているかを把握することができます。ps コマンドは UNIX 系 OS には標準で搭載されており、システムの状態を確認するための基本的かつ非常に便利なツールです。また、スレッドやプロセスの優先度などについても学生自身の Mac で確認することができます。



四條畷キャンパス

### 参加者の感想

実習授業ではアクティブなスレッドなどの確認方法を学びました。この先も必要となる Mac の基礎知識を学びました。

演習問題はとても難しそうでした。たくさんの文字列から加算したり、選択したり、入力したりの繰り返しです。頭が回りそうな感じがします。よくがんばっている学生さん達でした。



# 大学内に ドン・キホーテ OPEN!

## 「キャンパスドンキ大阪電通大店」7/1にOPEN！

ドン・キホーテの無人小型店舗「キャンパスドンキ大阪電通大店」が寝屋川キャンパス J 号館ラウンジ内に OPEN しました。日本国内の大学キャンパスにおける初出店となります。

ドン・キホーテのオリジナルブランド「情報価格」や「偏愛めし」の食料品、文房具、消耗品など約 450 アイテムが販売されています。

商品を手に取って店を出るだけで、自動的にキャッシュレス決済が完了するウォークスルー決済。

LINE 公式アカウントとお友達になり、クレジットカードか PayPay と連携。QR コードで入店、商品を手に取り退店すると決済が完了しています。

授業前や休憩時間の短い時間で買物ができる、忙しい学生さんにぴったりの店舗ですね。後援会役員も役員会の際に利用してみて決済の早さと便利さに驚いていました。

大学を訪れた際には保護者の方も是非、ご利用になってみてください。

### 【利用方法】



- ① LINE 公式アカウントとお友達になる
- ② LINE ミニアプリ QR で入店
- ③ 商品を手に取り、退店
- ④ LINE で購買履歴を確認





# 父母の声

## 寄りそうことばに支えられて

### 建築デザイン専攻 2年 母

大学生活を前に、親の私はうまくやっていけるのか心配していました。

そんな中で見た前期の成績表は、思っていた以上にショックで正直、息子にむかついてしまいました。

どうしてこんなことになったのか本人と話し合ってみたけれど、どこか他人事のような反応にますますモヤモヤが募りました。

それでも何かきっかけになればと思い、息子と二人で教育懇談会に参加することにしました。

担任の先生はこちらの不安にも耳を傾けつつ、息子のこともよく見てくださり、具体的であたたかいことばをかけてくださいました。

その姿に、とても感動しました。

その後、息子は同じように悩みながら頑張る友人たちと支え合いながら、学校生活を送るようになりました。

ときには弱音をはきながらも先生方の関わりに助けられて、少しずつ自分のペースで歩き始めたように感じています。

最近は友人たちとの学校生活の中で、楽しそうに話す様子を見て成長を感じています。

大学生活は学びだけでなく、人とのつながりの中で自分を見つけていく時間なのだとあらためて感じました。

これからもつまずきながらでも、自分らしく歩んでいってほしいと願っています。

## 未来の店【キャンパスドンキ】を利用体験してきました

### 電子機械工学科 3年 母

寝屋川キャンパスにオープンした初の無人小型店舗「キャンパスドンキ大阪電通大店」は、革新的な体験と驚きが凝縮されていました。

AIカメラと重量センサーが連動し、来店客が手に取った商品を自動で認識・決済する仕組みは、まさに未来の買い物そのもの。従来の店舗で当たり前だったレジ待ちの列は存在せず、商品を手に取ったらそのまま店を出るだけで良いという簡潔さは、初めて体験した私にとって大きな衝撃を受けました。

まるで自宅の冷蔵庫から飲み物を取り出すかのような手軽さで買い物が完結する感覚で、「レジでの会計」という一連のプロセスそれらが不要。商品を持ち店外に出るだけで会計が済んでおりすぐに携帯電話に購入履歴が転送されてきました。

食料品、文房具、消耗品など、学生や教職員のニーズに特化した約450アイテムが厳選されているそうです。LINEミニアプリを使ったキャッシュレス決済は、保護者の私でも簡単に使え便利に感じたので、多忙な学生たちにとっても非常に便利で多く利用されていくと思います。

ドン・キホーテが、実証実験との最新テクノロジーを積極的に取り入れた小売りの未来の無人店舗であり、テレビ、新聞での取材報道での取材も受けるほど世間で注目されているそうです。

キャンパスドンキの入口付近にはレンジが常設されておりました。少し残念なのはカップラーメン類がいっぱい取り扱いされているのに私が利用した土曜日はポットがなかったのです。食堂も締まっているのでそんなときに使用できるようにポットも常備されればもっと助かる学生も多いのではないかと思いました。



## 母の視点から見た息子の大学生活

### 通信工学科 2年 母

私の息子は、現在、情報通信工学部、通信工学科の2年生です。「高校を卒業したらすぐ働く！」と、工科高校へ入学しましたが、高校の先生方がとても親身で、学業面だけでなく進路や日常の悩みにも耳を傾けてくれ、その過程で、将来の“夢”を見つけ、進学という道を選びました。

「4月からは、楽しいキャンパスライフを送るのだろう…！」と思っていた母の予想とは裏腹に、大学へ進んだ息子は家でゲーム三昧。あれ？ 高校の頃と変わらない光景…？ 息子は大学での様子をほぼ話さないので、きっと、本人なりに頑張っているのだろうとは思いつつ、つい「大丈夫…？」と声をかけたりします。

そんなモヤモヤを抱えた中、先日行われた大学の懇親会に参加しました。その際、担任の先生や各授業の先生方から「講義にきちんと出席し、資格取得に向けて頑張っていますよ！」とお話を伺うことが出来、少し安心しました。

先生方から息子のエピソードを聞けた時に、大阪電気通信大学は、先生方と生徒の距離が近く、気軽に相談できる環境が整っていて、息子の大学生活の大きな支えになっていると感じました。

自論ですが、大学って、ある意味“サブスクリプション”みたいなものだと思います。優秀な先生方が揃い、学べるコンテンツも豊富。これを使い倒さないなんてもったいない！ 息子よ、今こそフル活用するんだ！！と母は叫びたいです。

さて、少し落ち着いて息子を見てみると、まだまだ頼りないところも多いですが、少しずつ将来を見据えた行動が出来るようになってきた気がします。

親としては、ハラハラしながらも、その背中をそっと押しつつ、これからも応援していきたいと思っています。

## 大学生活

### デジタルゲーム学科 4年父

早いもので、入学式は、コロナの影響もあり保護者は配信の視聴したことを今日のように覚えています。

授業は、オンライン授業と対面授業があり、親としてちゃんと授業を受けているか心配していましたが、友人もでき楽しく受けているようです。

初めのころ、息子は高校の時にプログラムを授業で学んでいた為、友人にプログラムを教えているところを見たときに、面白そうだったので、私も一緒に授業を受けたところをみると、自分が大学の頃よりも技術が進んでいることを実感します。(笑)

初めて総会に参加しその後の懇談で、担任制があるときも驚きましたが、学生への教育・支援もしっかり行われているなど実感しました。

キャンパス探訪に参加し、学内の施設の見学もさせて頂き、学内に最先端技術がそろっている所を見ました。

早いもので、気が付くと4年っていました。

今は就職活動真っ最中です、昨今、就職活動が早くなっていますが、息子は、スタートダッシュに遅れて就職活動を開始、キャリアセンターの担当方にはお世話になります、頑張っている姿をみると「内定貰ったよ」と喜んで報告してくれることを心待ちにしています。



# 大学への問い合わせ・キャンパス案内図

学生生活についてのご相談は遠慮なくお申し出ください。担当部署は次のとおりです。

## 寝屋川キャンパス

〒572-8530 寝屋川市初町 18-8 TEL 072-824-1131(代)

### 学部

⑤電気電子工学科 ⑧電子機械工学科 ①機械工学科  
基礎理工学科 (⑪数理科学専攻／⑫環境化学専攻)

### 情報通信工学部

⑨情報工学科 ⑩通信工学科

### 建築・デザイン学部

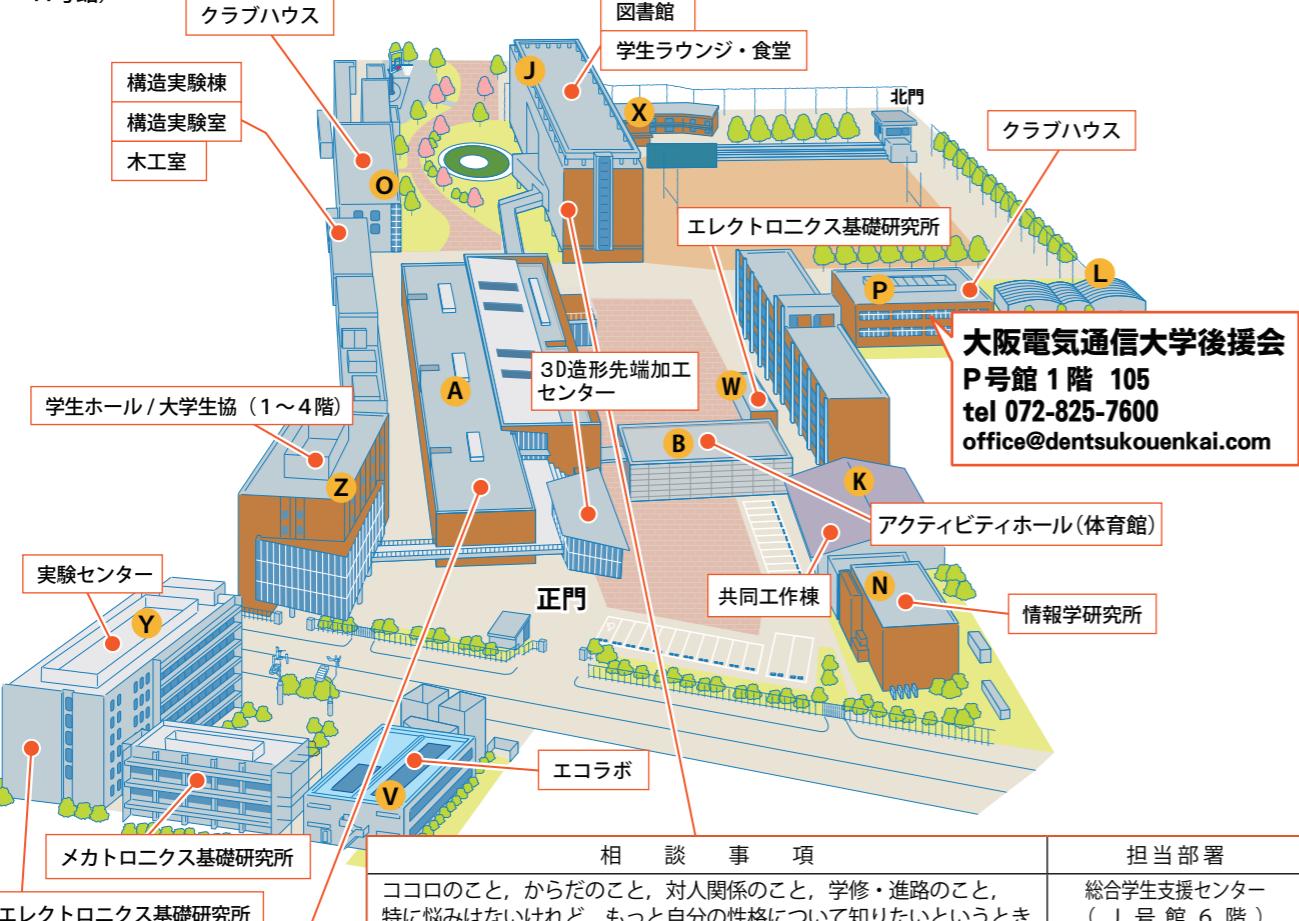
建築・デザイン学科 (⑬建築専攻／⑭空間デザイン専攻)

### 大学院

**工学研究科** 工学専攻 (先端理工学コース、電子通信工学コース、制御機械工学コース、情報工学コース、建築学コース)

図中の A ~ Z は号館を表しています

(A → A号館)



### OECUイノベーションスクエア (A号館)

相談事項	担当部署
教育課程、履修登録、授業、試験、成績、進級、卒業、欠席届、転科願、転部願、成績関係の証明書及び卒業証明書の発行、クラブなど課外活動、奨学金制度、下宿、アルバイト、学生の身体状況、休学・退学の願い出、学費延納願、保証人変更届、住所変更届、在学証明書、学割、健康診断証明書の発行等に関する事項	寝屋川学務課
海外留学（オンラインプログラムを含む）、留学生と在学生との交流に関する事項	国際交流センター
就職に関する事項	キャリアセンター寝屋川オフィス
課外講座に関する事項	資格学習支援センター
学費に関する事項	会計課
大学院入学試験及び編入学試験に関する事項	入学センター

## 四條畷キャンパス

〒575-0063 四條畷市清瀧 1130-70 TEL 072-876-3317

### 学部

⑥医療健康科学部 ⑦医療科学科 ⑧理学療法学科 ⑨健康スポーツ科学科  
健康情報学部 ⑩健康情報学科 (⑪医療工学専攻／⑫理学療法学専攻／⑬スポーツ科学専攻)  
総合情報学部 ⑭デジタルゲーム学科 ⑮ゲーム＆メディア学科 ⑯情報学科

### 大学院

**医療福祉工学研究科** 医療福祉工学専攻

**総合情報学研究科** 総合情報学専攻 (デジタルアート・アニメーション学コース、デジタルゲーム学コース、コンピュータサイエンスコース)

図中の 1 ~ 12 は号館を表しています

(1 → 1号館)



### 四條畷キャンパス (1号館)

相談事項	担当部署
教育課程、履修登録、授業、試験、成績、進級、卒業、欠席届、転科願、転部願、成績関係の証明書及び卒業証明書の発行、クラブなど課外活動、奨学金制度、下宿、アルバイト、学生の身体状況、休学・退学の願い出、学費延納願、保証人変更届、住所変更届、在学証明書、学割、健康診断証明書の発行等に関する事項	四條畷学務課
学費に関する事項	学事・会計課
就職に関する事項	キャリアセンター四條畷オフィス
課外講座に関する事項	資格学習支援センター
ココロのこと、からだのこと、対人関係のこと、学修・進路のこと、特に悩みはないけれど、もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター

食べよう、朝食！

# 「三文の徳食堂」

学生限定

ワンコイン100円で朝食(ご飯・味噌汁付)



三文の徳食堂は、「学生にしっかり朝食を摂ってもらい、1限目からの講義に備えてほしい」、「規則正しい生活習慣を備えてもらいたい」と言う意見のもと、後援会が協力して2014年前期より開始、利用者には好評でリピーターも増え続けています。  
まだご利用されていない学生さん、是非一度お試しください。



あなたのデザインで表紙を飾ってください

後援会たより No.56春号, No.57秋号

# 表紙デザイン 2026年春号・秋号 を募集します

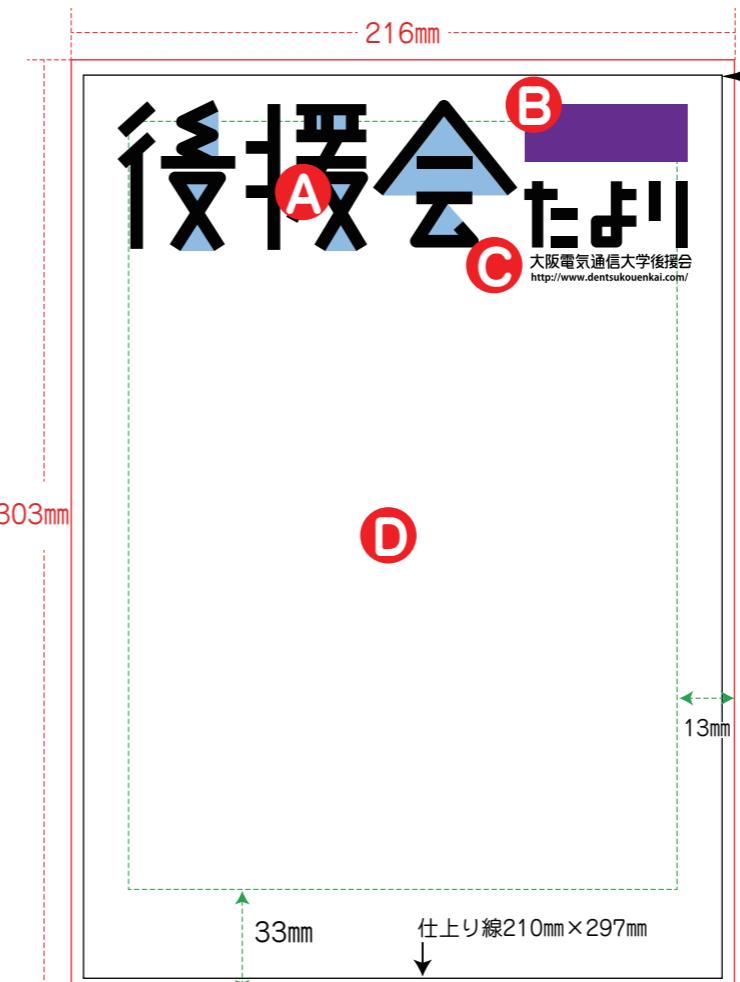
応募対象者  
本学学生  
および  
保護者

楽しいデザインをお待ちしています！  
どしどしご応募ください！

▶ サイズ：216 mm × 303 mm フルカラー  
(仕上りA4 210 mm × 297 mm)

▶ 応募形式：  
Illustrator (.ai)  
Photoshop (.psd)  
画像データ (.jpeg)

※いずれの応募形式の際もキャンバスサイズは 216 mm × 303 mm  
で解像度は 300 ~ 400pixel/inchにしてください。



A. 後援会たより

B. 2026年 No.56 春号 2026年5月中旬予定  
2026年 No.57 秋号 2026年11月中旬予定

C. 大阪電気通信大学後援会  
<http://www.dentsukouenkai.com/>

A~Cは必ず入ります。色は自由です。

D. 自由にデザインしてください。  
(左右上 13 mm、下 33 mm の余白が必要です)

※未発表のオリジナル作品に限ります  
※フォーマットのデータがありますので後援会事務室にお問い合わせください。

▶ 締切：2026年2月27日(金)午後4時

▶ お問い合わせ・提出先  
後援会事務室 (P号館1階105室)  
TEL 072-825-7600  
E-mail : [office@dentsukouenkai.com](mailto:office@dentsukouenkai.com)

応募者には、  
寸志を差し上げます！



# 大阪電気通信大学後援会規約

(昭和38年7月13日制定)  
2025年4月1日改正

## (名 称)

第1条 本会は大阪電気通信大学後援会と称する。

## (目 的)

第2条 本会は大阪電気通信大学同大学院博士課程(前期)以下「大学」という。と家庭との連絡を密にし、教学の使命達成に協力するとともに大学の発展向上に寄与することを目的とする。

## (事 業)

第3条 本会は前項の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 学生の福利厚生に対する援助
- (2) 学生の就職に対する協力援助
- (3) 教育上必要な施設及び研究に対する援助
- (4) 教育上必要な家庭との連絡
- (5) その他、本会に必要と認めた事業

2 前項の援助に関する必要事項別に定める。

第4条 本会は事務局を大阪電気通信大学内おく。

2 本会の事務処理は大学事務局に委嘱することができる。

## (支 部)

第5条 本会は支部をおくことができる。

2 支部についての細則は別に定める。

## (会 員)

第6条 本会の会員は次のとおりとする。

- (1) 正会員 大学生在籍する学生の保証人
- (2) 特別会員 本会の趣旨に賛成し、これに協力援助を希望する者

## (役 員)

第7条 本会に次の役員をおく。

会長1名、副会長2名、会計1名、常任幹事1名、幹事及び学内幹事(大学教職員の中から選任される役員をいう)若干名、会計監査2名(役員の選任)

第8条 本会の役員は総会において選任する。ただし、常任幹事及び学内幹事は、次項に定めるところによる。

2 学内幹事は、副学長、学部長、共通教育機構長、大学事務局学事部長、学務部長、学務部事務部長、キャリアセンター部長、大学院代表、四輪駆動事務部長、学務部次長、キャリアセンター次長、入学センター次長、学事課長及び会長が委嘱する教職員とする。

3 常任幹事は、大学事務局長に委嘱する。

## (役員の任期)

第9条 本会の役員の任期は1年とし、留任を妨げない。

## (役員の職務)

第10条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長不在又は事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 常任幹事は会長の委任を受けて、本会の事業の企画立案及び運営にあたる。
- (4) 幹事及び学内幹事は本会の運営その他、会務推進について意見を具申する。
- (5) 会計は本会の会計事務を処理する。
- (6) 会計監査は本会の会計を監査する。

## (顧 問)

第1条 本会は必要に応じ若干名の顧問をおくことができる。  
2 顧問は役員会又は役員の求めに応じて会の事業への助言又は協力をう。

3 顧問は役員会において選任し、総会において承認を受けるものとする。

4 顧問の任期は1年とし、1回限り再任を認める。

5 顧問は総会、役員会に出席するが議決権は有しない。

## (相談役)

第12条 本会は必要に応じ若干名の相談役をおくことができる。

2 相談役は役員会又は役員の求めに応じて会の事業への助言又は協力をう。

3 相談役は役員会に委嘱する。

4 相談役の任期は1年とし、1回限り再任を認める。

5 相談役は特に必要な限り、総会、役員会には出席しない。

## (総 会)

第13条 定期総会は、年1回開催し、会長が議長となり、議長の開会宣言をもって総会の成立とする。

2 総会では、事業計画、予算、決算、役員の選任及びその他必要事項についての承認を受けるものとする。

3 会長が必要に認めたとき、又は会員の5分の1以上の請求があつたときは、臨時総会を開くものとし、会長が議長となる。

4 議決は、出席者の過半数をもつて決する。可否同数のときは、議長がこれを決する。

5 災害、感染症の流行等で総会が開催できない場合は、前年度役員が第2項に定める事項を決定する。

6 会員の住居(学校へ届出の現住所)等が災害のために損害を受けたとき、次の通り災害見舞金を贈る。

1. 住居が全壊、全焼したとき 30,000円

2. 住居が半壊、半焼したとき 20,000円

3. 床上浸水したとき 10,000円

- 第15条 本会の収入は、会費及びその他の寄付金をもって充当する。
- 2 大学各学部の会員の会費は入学時に20,000円を徴収する。
- 3 大学院の会員の会費は10,000円とし、入学時に徴収する。
- 4 大学各学部へ編入した会員については編入学時に10,000円を徴収する。

## (年 度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。

(改 領)

第17条 この規約は、総会の議決により改正することができる。

## (附 則)

この規約は、平成30年8月4日から改訂・施行する。

(附 則)

この規約は、平成30年10月13日から改訂・施行する。

(附 則)

この規約は、2019年5月18日から改訂・施行する。

(附 則)

この規約は、2019年12月7日から改訂・施行する。

(附 則)

この規約は、2020年5月30日から改訂・施行する。

(附 則)

この規約は、2025年4月1日から改訂・施行する。

(附 則)

この規約は、2025年4月1日から改訂・施行する。

## (甲歌の場合)

1. 会員または会員の配偶者が死亡した場合

弔慰金 30,000円・壇上對・弔禮(後援会名)

2. 学生が死亡した場合

弔慰金 30,000円・壇上對・弔禮(後援会名)

3. 大学の教職員および教職員の配偶者・父母・子女が死亡した場合

弔禮(後援会名)

## (災害見舞の場合)

会員の住居(学校へ届出の現住所)等が災害のために損害を受けたとき、次の通り災害見舞金を贈る。

1. 住居が全壊、全焼したとき 30,000円

2. 住居が半壊、半焼したとき 20,000円

3. 床上浸水したとき 10,000円

# 大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用規程

平成13年4月1日制定  
最近改正 2022年4月29日

## (目 的)

第1条 この規程は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の学生で、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与して、学業を継続させることを目的とする。

## (名 称)

第2条 前条の学資を大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金(以下「奨学金」という)といい、奨学金の貸与を受ける者は大阪電気通信大学貸与奨学生(以下「奨学生」という)。

## (財 源)

第3条 本奨学金は、大阪電気通信大学後援会(以下「後援会」という)及び一般社団法人大阪電気通信大学友電会(以下「友電会」という)から拠出された出資金並びに有志の寄付金を財源とする。

## (委員会)

第4条 奨学生の選考及び奨学金に関する諸事項を審議するため、大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金委員会(以下「委員会」という)を置く。

2 委員会は、次の者をもって組織する。

(1) 学務部長、及び学務部事務部長又は学務部次長  
(2) 後援会より選出された者 若干名(内1名を会計監査人とする)

(3) 友電会より選出された者 若干名(内1名を会計監査人とする)

3 委員会は毎年1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員長は学務部長とする。

5 委員会は必要により委員長が招集する。

## (奨学金の貸与を受ける者の資格)

第5条 奨学金の貸与を受けることができる者は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の在学生で、次の条件を満たしている者とする。

(1) 学資支弁が困難な者

(2) 人物、学業成績とも良好な者

## (奨学金の額と利息)

第6条 奨学金の額は半期分の学費相当額とする。

2 貸与した奨学金には利息を付さない。ただし、返済を怠った際の取扱いについては第15条に定めるところとする。

## (貸与期間)

第7条 奨学金を貸与する期間は、本学に在籍している期間内とする。

## (返済方法)

第8条 奨学金の返済方法は、次の通りとする。

(1) 返済は、貸与の終了した年度の翌年度から年賦返済とし、5年内に全額を返済する。

(2) 1年間の返済額は、原則として貸与額の2割とする。

の全額を返還しなければならない。

## (返済猶予)

第14条 委員会は、奨学生であった者が、本学の大学又は大学院に引き続き入学した場合、その他正当な事由によって奨学金の返済猶予を願い出すときは、相当と認め期間猶予することとする。

2 前項の場合、委員会は、改めて奨学金の返済について指定し、本人はその指定に従わなければならぬ。

## (延滞金)

第15条 奨学生であった者が、正当な理由なく奨学金の返済を怠ったときは、年5%の延滞利息を徴収することができる。

## (返済免除)

第16条 委員会は、次の各号のいずれかに該当することにより、奨学金の未返済額の全部又は一部について返済不能となったときは、本人又は連帯保証人の願い出によって、その全部又は一部の返済を免除することができる。

(1) 奨学生又は奨学生であった者が死亡したとき

(2) 奨学生又は奨学生であった者が身体の障害等を持つに至ったとき

## (会計監査)

第17条 会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。

2 前項の会計年度に係る決算終了後、会計監査を終て委員会に報告する。

3 監査人は、後援会及び友電会よりそれぞれ選出された者とする。

## (所管)

第18条 この規程に関する事務は、学務部において行う。

## (改廃)

第19条 この規程の改廃は、委員会において審議及び決定するものとする。

## (附 則)

1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。

2 大阪電気通信大学「後援会・友電会」貸与奨学金規則は、廃止する。

## (附 則)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## (附 則)

この規程は、平成30年10月1日から施行する。

## (附 則)

この規程は、2022年4月29日から施行する。



## 後援会たより No.55 秋

2025 (令和7) 年11月10日発行

編集発行：大阪電気通信大学後援会

〒572-8530 寝屋川市初町18-8 (P号館1階 105室)

TEL 072-825-7600 / FAX 072-825-7611

<http://www.dentsukouenkai.com/>

E-mail : office@dentsukouenkai.com

印刷：共同プリント株式会社

